

事務事業及び予算の執行実績
(令和6年度「一部、令和7年度を含む」)

静岡県立藤枝東高等学校

目 次

□□□□□	事務事業の概要	1
□□□□□	事務執行の根拠法令調	27
□□□□□	学校施設の概要	28
□□□□□	在籍生徒調	30
□□□□□	入学志願者及び入学者数調	31
□□□□□	卒業生の動向調	32
□□□□□	生徒の状況	33
□□□□□	授業料収納状況調	36
□□□□□	歳入予算執行状況調	38
□□□□□	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	44
□□□□□	現金出納調	45
□□□□□	預金調	45
□□□□□	郵券等受払調	46
□□□□□	歳入歳出外現金調	46
□□□□□	歳出予算執行状況調	47
□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	54
□□□□□	委託料に関する調	56
□□□□□	負担金支出調	62
□□□□□	建築工事調	64
□□□□□	公有財産調	66
□□□□□	借地借家等調	68
□□□□□	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	69
□□□□□	行政財産貸付・使用許可調	70
□□□□□	普通財産・借受財産等貸付調	71
□□□□□	備品・図書調	72
□□□□□	主要備品調	76
□□□□□	職員調	77
□□□□□	職員の年齢調	80
□□□□□	健康管理	81

事務事業の概要

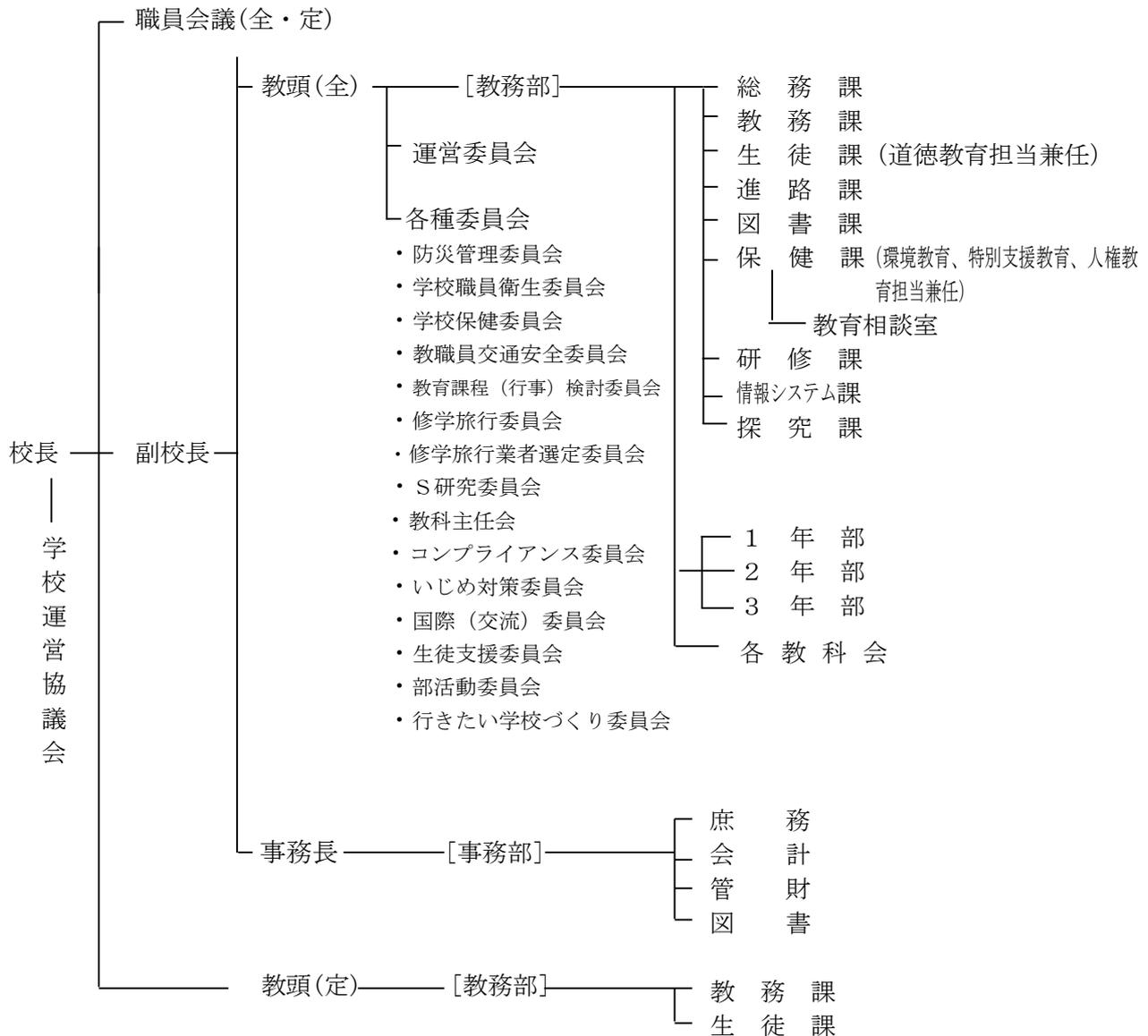
1 概況

(1) 学校の沿革

大正12年11月20日	文部省告示第449号をもって静岡県立志太中学校設立認可 定員100人（1学年2学級）
大正13年4月7日	第1回入学式挙行
大正13年7月7日	校舎本館建築工事完成（1,603.2㎡）
昭和16年4月1日	定員150人（1学年3学級）
昭和23年4月10日	学制改革により静岡県立志太高等学校となる
昭和23年9月1日	定時制課程を併設、定員40人（9月28日入学式挙行）
昭和24年4月1日	県下高等学校再編に伴い、旧静岡県立藤枝高等学校を統合し、静岡県立藤枝高等学校となる。それぞれ東教場、西教場と呼称 定員350人（東教場200人、西教場150人）
昭和25年4月1日	全日制課程普通科 定員400人（東教場220人、西教場180人）
昭和26年4月1日	全日制課程普通科 定員450人
昭和27年4月1日	静岡県立藤枝高等学校の東西教場を分離独立し、それぞれ静岡県立藤枝東高等学校（全日制課程普通科定員250人）及び静岡県立藤枝西高等学校となる
昭和31年3月31日	体育館兼講堂完成（1,102㎡）
昭和32年10月10日	運動場拡張工事完了（2,708㎡）
昭和37年4月1日	全日制課程普通科 定員300人（1学年6学級）
昭和37年8月26日	第2棟校舎改築工事完了（2,763.38㎡）
昭和38年4月1日	全日制課程普通科 定員400人（1学年8学級） 榛原郡中川根町徳山に川根分校設置、全日制課程普通科定員150人
昭和41年3月31日	川根分校は静岡県立川根高等学校として独立
昭和41年4月12日	第1棟（本館）改築第1期工事完了（2,141.32㎡）
昭和41年12月26日	第1棟（本館）改築第2期工事完了（1,907.70㎡）
昭和42年4月1日	全日制課程普通科 定員350人（1学年7学級）
昭和42年6月21日	第2グラウンド拡張工事完了（5,614.75㎡）
昭和48年3月25日	プール完成（25m×25m 12コース）
昭和48年8月31日	渡り廊下及び部室改築工事完了（561㎡）
昭和49年5月30日	第2体育館・格技場（2,031㎡）、弓道場（140.76㎡）完成
昭和55年4月1日	全日制課程普通科 定員360人（1学年8学級）
昭和57年4月1日	全日制課程普通科 定員315人（1学年7学級）
昭和58年4月1日	全日制課程普通科 定員360人（1学年8学級）
昭和61年11月7日	第2棟校舎耐震補強工事完了
昭和63年3月26日	第3棟校舎建築工事完成（図書室、書道教室 581.45㎡）
昭和63年4月1日	全日制課程普通科 定員405人（1学年9学級）
平成2年10月31日	第2体育館ピロティ改修工事完了（544.69㎡）
平成8年4月1日	全日制課程普通科 定員320人（1学年8学級）
平成14年4月1日	全日制課程普通科 定員280人（1学年7学級）
平成14年5月13日	第1棟校舎地震対策緊急整備工事完了
平成17年1月31日	新体育館耐震補強工事完了
平成19年4月1日	全日制課程普通科 定員320人（1学年8学級）
平成20年4月1日	全日制課程普通科 定員280人（1学年7学級）
平成21年2月27日	第1グラウンド人工芝整備工事完了

- 平成23年 1月27日 渡り廊下・部室及び弓道場改築工事完了（渡り廊下・部室290.44㎡、弓道場89.44㎡）
- 平成24年 5月16日 旧体育館及び渡り廊下補強工事完了（旧体育館969.19㎡、渡り廊下218.00㎡）
- 平成25年 3月28日 マンホールトイレ12基設置
- 平成29年11月14日 第2棟校舎長寿命化工事完了
- 平成30年 9月14日 第1グラウンド人工芝張替工事完了
- 令和6年 5月 1日 管理教室棟新築工事完了（5,317.01㎡）
- 令和6年11月20日 創立100周年記念式典挙行

(2) 組織図



2 目指す学校像

<全日制>

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー
8つの力を身につけた「高く 輝き 切り拓く人」の育成を目指す。 ①協働力…多様な人々と共に物事を進める力 ②共感力…豊かな人間性で他者を受容し、思いやりを持つ力 ③発想力…グローバルな視野で深く多角的に思考しアイデアを生み出す力 ④研鑽力…学力や体力、高い知性・教養、人格を磨き続ける力 ⑤発信力…よりよい社会づくりに向けて個性を発揮し、考えを他人に届ける力 ⑥自発力…自律・自立し、主体的に行動して未来を切り拓く力 ⑦統率力…高潔な人格、責任感と的確な判断で人々をまとめる力 ⑧完遂力…物事に忍耐強く取り組み、最後まで遅しくやり抜く力
カリキュラム・ポリシー
①文理融合型教育を推進し、多様な学問分野を結び付け活用・発信する力を育む。 ②知的好奇心と探究力を高め、新たな価値を創出する力を育む。 ③全ての教育活動を通じて、多様性、国際性、豊かな感性等の高い人間性を育む。
アドミッション・ポリシー
①知的好奇心が豊かで自ら学ぼうとする姿勢を持ち、積極的に行動できる生徒 ②他者と共同して、積極的に探究活動に取り組む生徒 ③多様性を認め、豊かな人間性と他者とのコミュニケーション能力を高めたいと望む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 学ぶ意欲を高める授業や探究力を育む教育の実践により、生徒の学力向上を図る。
- イ 生徒一人一人が高い志を持ち、その進路実現のための個に応じた支援を行う。
- ウ 様々な教育活動を通じて、多様な価値観を尊重し、豊かな感性と人間性を育む。
- エ 日々の生活において「誠」を尽くし、逞しい心と体を育み、主体的に活動する力を養う。
- オ 保護者・外郭団体・地域等との連携により、存在感ある学校を実現する。
- カ 教育環境の整備・充実及び心理的安全性が確保された学校づくりを進める。

<定時制>

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
① 自己肯定感を高め、自立し、逞しく生きる力を育成 ② 基本的な生活習慣を確立し、基礎学力の向上を図る。 ③ 望ましい勤労観や職業観を養い、社会の一員として自信と自覚が持てる人間を育成	① 働きながら学ぶことができる、普通科の夜間定時制高校 ② 在学期間は4年間であるが、併修制度利用により3年間での卒業も可能 ③ 生徒一人一人の理解度に応じた「わかる授業」を推進し、きめ細やかな指導を実現 ④ 地域で活躍する多様な人材と関わる機会を設定 ⑤ 生徒一人一人が主体的に取り組む学校行事を計画し、達成感や充実感を高める。	① 基礎学力を身に付けようとする意欲を持った生徒 ② 学校生活を大切にし、前向きに活動しようとする生徒 ③ 自己実現の意欲があり、将来の目標に向かって努力できる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 基本的な生活習慣の確立と生徒一人一人が、自己肯定感を持って学校生活を送ることができるよう指導する。

イ 生徒一人一人の理解度に応じた「わかる授業」の推進により、基礎学力の一層の定着を図る。

ウ 進路目標の実現に向け、地域の人材等を活用し、望ましい勤労観や職業観を身に付けさせる。

エ 様々な教育活動を通じ、思いやりや優しさ、逞しい心などを涵養し、社会の一員として信頼される人を育てる。

オ 教育環境の整備充実及び安心で安全な学校づくりを進める。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

<全日制> 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(1)	学ぶ意欲を喚起し、主体性を伸ばす授業や指導の改善等を進めることで、生徒の学力向上を図る。	「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する授業が行われている」と回答する生徒・保護者 85%以上	「学ぶ意欲を引き出す、学習指導が行われている」と回答した生徒 88%保護者 89% 「学力が向上する学習指導が行われている」と回答した生徒 93%、保護者 91%	A	ICT 機器を活用したり、グループ活動や探究活動を取り入れた授業を行ったり、工夫した授業を行ってきたりした成果が現れたと思われる。 今後も、新課程で求められている「生徒が主体的に学ぶ授業」を展開すると共に、新課程入試の更なる研究を進め、生徒の学力が向上する授業を実施する。
		公開授業を年間2回以上実施した教員 100% 授業参観を自教科、他教科問わず年間4回以上実施した教員 100%	全教員が公開授業を年間1回以上実施した。 授業参観を年間4回以上実施した教員は 77.2%	B	授業公開は、管理職の授業参観期間に合わせて全教員が年間1回実施し、複数の教員がその他研究授業等を実施した。 いつでも気軽に授業参観できる雰囲気を作り、全教員が年間4回以上参観する。
		授業においてICTを効果的に活用したと回答する教員 85%以上	全教員が、ICT機器を活用して授業や演習を行った。	A	ICT 機器を教員が効果的に活用することで、授業改善を行った。 次年度は、生徒の ICT 機器の効果的な活用にも力を入れたい。
		「適切な量の課題が出されている」「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する補講が行われている」と回答する生徒 75%以上	「適切な量の課題が出されている」と回答した生徒 85.8% 「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する補講が行われている」と回答した生徒 85%	A	課題の量については、教科間で調整をして設定をした。 補講については、土曜講習・放課後講習共に、生徒の実態に即した基礎から発展までの講座を用意したことで、生徒の積極的な受講に繋がった。 次年度も、課題の精選、より効果的な補講の提供に取り組む。

		「教科への関心・意欲が高まり学力や技能の向上が実感できた」と回答する生徒80%以上	「教科への関心・意欲が高まり学力や技能の向上が実感できた」と回答した生徒79%~90%	A	ICT 機器の効果的な活用や授業改善により、学力の向上を感じる生徒が増えた。 今後も、授業改善に努め、観点別評価の妥当性を検討し、適切な評価に繋げていきたい。
		「8つの力」の伸長が自覚できる生徒100%	「8つの力」の伸長が自覚できる」と回答した生徒87%	B	授業や行事の振り返りで「8つの力」の伸長を考えさせた。 より効果的な振り返りをさせて、伸長を自覚させたい。
(2)	生徒が高い志を抱き、その進路実現を果たすための適切な指導を行う。	「志を育む指導が行われている、進路に関する情報が適切に提供されている」と回答する生徒・保護者85%以上	「志を育む指導が行われている」と回答した生徒87%、保護者85% 「進路に関する情報が適切に提供されている」と回答した生徒87%、保護者78%	B	生徒との面談、模試結果の振り返り、進路指導など、対話による関わりによって「志」は高められている。進路に関する情報については、保護者への情報提供がやや不足していた。 多様化する入試に備えて、生徒・保護者が万全の備えをして受験に臨めるよう、適切な情報を提供していく。
		「進路実現に向けての学力向上、理解向上に役立った」と回答する生徒の割合が前年度より増加する。	「進路実現に向けての学力向上、理解向上に役立った」と回答する生徒の割合が前年度より若干(4%)下がった。	A	昨年度より若干下がったが、放課後講習の満足度は89%と高く、昨年度から実施している夏期特別講習も好評だった。 生徒の学力や弱点を分析し、満足度の高い放課後講習・夏期特別講習となるよう工夫をし、実施していく。
		100周年記念行事に対する生徒の肯定的な回答80%以上	100周年記念行事に参加した生徒から肯定的な回答を得た。	A	記念行事の振り返りで満足度の高い肯定的な回答が見られた。 複数年実施予定の記念行事(OB講演や海外研修等)をより良いものにしていく。
(3)	様々な学校行事等における協働を通じて、多様性、国際性、豊かな感性、思いやりの心等を育み、人間性を高める。	図書委員による読書推進活動年4回以上。図書館を利用した生徒数が前年度よりも増加する。生徒と教職員による広報誌年間20回以上発行	推進活動4回以上実施。図書館を利用した生徒数が前年度より増加。広報誌20回以上発行	A	図書委員会が中心となり、イベントの実施や広報誌等の発行を行い、図書館利用生徒数を増やし、生徒が読書に親しむ姿勢を喚起することができた。 新しい図書館のWi-Fi環境や投影環境等を整備し、展示方法等も工夫し、多機能型図書館としてより充実させていきたい。
		「8つの力」の伸長が自覚できる生徒100%	「8つの力」の伸長が自覚できる」と回答した生徒87%	B	「8つの力」の伸長が自覚できた生徒は高数値だったが100%までには至らなかった。 どう自覚させるかが課題であり、行事等の振り返り方法等を工夫したい。

		参加した生徒の満足度 90%以上	演劇鑑賞教室に参加した生徒の満足度（「大変満足」「まあ満足」の計）99%	A	生徒の満足度が非常に高い文化的行事である。 生徒の興味・共感を得る適切な演目や講師を選定し、継続実施していく。
		「部活動に意欲的に取り組んだ、活動内容や時間が適切である」と回答する生徒・保護者 90%以上	「部活動に意欲的に取り組んだ」と回答した生徒 93%、保護者 91% 「活動内容や時間が適切である」と回答した生徒 88%、保護者 84%	A	多くの生徒が、充実した部活動を行っていることがわかる。 中学校が部活動の地域移行を進めていく中、高校での部活動のあり方、活動内容や活動時間等について、検討していく必要がある。
		校外活動への参加生徒数が前年度よりも増加する。	生徒会や JRC 部等が地域社会貢献活動に取り組んだ。	B	委員会や部活動単位中心に、地域社会貢献活動に取り組んだ。 より多くの生徒が、意欲的に参加できるような広報や提示をしていきたい。
		参加した生徒の満足度 90%以上	台南の高校との交換留学、アメリカ研修の参加生徒の満足度 100%	A	台南での交換留学、アメリカ研修共に、満足度が非常に高かった。 次年度も継続実施し、国際交流を推進していく。
(4)	社会に主体的にかかわり、正しい行いを通じて、自立した社会性・公共性を身に付ける。	全教職員による街頭（登校）指導実施年3回 自転車による登下校中の事故年20件以下	街頭指導年3回実施。自転車による登下校中の事故件数20件内（15件）におさめることができた。	A	街頭指導や日頃からの交通指導により、事故件数を減らすことができた。 自転車安全指導カードを交付される生徒がいるため、交通マナーの遵守や自転車事故に備えてのヘルメット着用を引き続き呼びかけていく。
		「高校生活について適切に指導が行われている」と回答する生徒・保護者 90%以上	「高校生活について適切に指導が行われている」と回答した生徒 93%・保護者 94%	A	生徒・保護者共に高い評価を得ている。 挨拶やスマートフォンの適切な利用は改善の余地があり、引き続き指導していきたい。
		生徒の参加数が前年度よりも増加する。	部活動や教科での外部のコンクールや海外研修、イベント等への積極的な参加が見られた。	B	部活動単位での校外活動への積極的な参加が見られた。 校外活動の募集が増えているため、C-learning 等を使用し、広報を行い、個人の参加者も増やしていきたい。
		いじめによる不登校及び生徒指導0件 「頼れる先生がいる」と回答す	「頼れる先生がいる」と回答した生徒 93%、保護者 92% いじめによる不	A	「頼れる先生がいる」という回答が生徒・保護者共に年々増加している結果は評価できる。 今後も、いじめ等に関する相談には、学校全体で、迅速に、適

		る生徒・保護者が85%以上	登校及び生徒指導はなかったが、相談は複数件あった。		切に対応をしていき、生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。
(5)	保護者・学校後援会・同窓会・地域等との連携の下、信頼され応援される学校づくりを進める。	「東高に入学してよかった」と回答する生徒・保護者85%以上	「東高に入学してよかった」と回答した生徒93%、保護者96%	A	生徒・保護者共に高い評価を得た。 今後も、教員のみならず、外部機関との連携を図り、手厚い指導を心掛けていきたい。
		「情報を適切に伝えている」と回答する生徒・保護者95%以上 地域の中学校への訪問年間3回以上 報道部生徒によるポスター及び卒業生等出演の学校PR動画の作成が実現する。	「情報を適切に伝えている」と回答した生徒93%、保護者94% 地域の中学校へ年間3回以上訪問 学校のポスター、PR動画を作成し、一日体験入学等で使用した。	A	ホームページやインスタグラムを利用して、学校生活の様子を発信してきたことが、生徒・保護者からの高評価に繋がったと思われる。 引き続き、ホームページ、インスタグラムで、適切に情報発信をしていく。 学校生活の様子が適切に伝わるようなポスターや動画作成を行い、地域の中学校へ発信していく。
		総会や各種行事の出席率50%以上 「参考になった(良かった)」と回答する保護者95%以上	PTA 総会出席率は37.7%だったが、その後の学級懇談会出席率は59.2% 進路講演会への評価は、79.1%	B	総会については平日午後開催ということもあり出席率50%には及ばなかったが、その後のクラス懇談会の出席率は59.2%と高かった。 総会の日時や方法について、検討していく。
		100周年記念行事に対する肯定的な回答80%以上 「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者80%以上	100周年記念行事に対して満足度が高かった。 「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答した生徒95%、保護者92%	A	新校舎への移転、OB講演や人文字、記念式典などの100周年記念行事が数多く開催され、それに対する満足度が非常に高かった。 新校舎やグラウンド等の施設の更なる整備、複数年の記念事業(OB講演や海外研修)の更なる充実が今後求められる。
		「来校目的を達成することができて良かった」と回答する来校者100%	公開授業で99%が目的を達成できたと回答した。一日体験入学も好評であった。	B	生徒によるパネルディスカッションや説明が好評であった。 来年度も生徒が本校の魅力を伝えるような場面を設定したい。

(6)	より良い学習環境の整備充実と安心安全な学校づくりを進める。	「生徒の健康や安全に配慮がされている」と回答する生徒・保護者 95%以上	「生徒の健康や安全に配慮がされている」と回答した生徒 95%、保護者 93%	A	熱中症予防やインフルエンザ等の感染への対応やSCを含めた教育相談対応などを丁寧に進めた結果が高評価に繋がった。今後もきめ細やかな対応に心掛ける。
		「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者 80%以上	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答した生徒 95%、保護者 92%	A	新校舎への移転が完了し、設備面での評価が高かった。引き続き、新校舎やグラウンド等の施設や設備の充実化を図り、より良い学習環境の整備を進めていく。
		地域防災訓練の参加率向上 「災害・非常時の避難方法や連絡方法を承知している」と回答する生徒・保護者 80%以上	12月地域防災訓練の参加率 40.7% 「災害・非常時の避難方法や連絡方法を承知している」と回答した生徒 86%、保護者 78%	B	本年度は新校舎への移転に伴い、防災計画書の改訂、新避難経路の策定や校内防災訓練、防災備品の配置替え等を行った。地域防災訓練への参加率は高くなかった。参加率を上げるための方法を検討していく。
		情報セキュリティインシデント未発生	情報セキュリティインシデント発生はなかった。	A	職員の個人端末からのクラウド利用による情報漏洩リスクに対して引き続き注意喚起を行っていく。
		教職員の時間外勤務時間が前年度よりも減少する。	ICTの活用で採点業務等の負担感は減ったが、時間外勤務時間の減少には繋がっていない。	B	百問繚乱の利用により、採点業務は軽減されたが、全体的な業務量が多いため、時間外勤務時間は減っていない。社会全体の価値観の変化もあり、学校に持ち込まれる課題が多過ぎるのが現状である。業務整理を進めていく。
		「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者 80%以上	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答した生徒 95%、保護者 92%	A	学校経営予算や維持修繕予算の執行にあたっては、優先順位を付け、教育効果が高いと認められるものから執行した。予算が潤沢ではないため、今後一層予算配分を工夫することが求められる。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
1	基本的な生活習慣の確立と自律心の涵養を図る。	<p>ア 個人面談等を通して生徒の実態を把握し、カウンセリングマインドを持って接することで、自己肯定感を持って前向きな学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>イ 各授業での具体的な方策を通して欠席、遅刻、早退をせず、時間を大切にすることを育てる。</p> <p>ウ 登下校指導や交通安全教室、原付グッドマナー講習会などを通じて安全意識を高める。</p> <p>エ 日常指導や行事を通じて、健康や命の大切さについて考えさせる。また、感染症予防を徹底する。</p>	<p>ア 面接週間以外で面接を実施した教員100% 「相談できる教員がいる」と回答する生徒、保護者80%以上</p> <p>イ 授業の遅刻・早退数が前年度より減少</p> <p>ウ 通学時の交通事故0件</p> <p>エ 「保健だより」の発行年5回以上 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒75%以上</p>	A	<p>ア ◎各担任が面接週間期間でも期間外でも面接を実施した。 ◎「相談できる教員がいる」と回答した生徒、保護者は83.3%だった。</p> <p>イ ○遅刻、早退15回以上の生徒は5人で、令和5年度の7人から減少した。</p> <p>ウ ◎通学時の交通事故は0件だった。</p> <p>エ ◎保健だよりは8回発行した。 △健康や安全に関する高い意識を持つ生徒は50%にとどまった。</p>
2	学ぶ意欲を高め、基礎学力等の定着を図る。	<p>ア 生徒一人一人の理解度を把握し発表や質問等を大切にする授業を行う。</p> <p>イ ICT機器の活用、教材の工夫等により、主体的な取組を促すとともに、授業を大切にする姿勢を高める。</p> <p>ウ 校内研修や教科研究会等の機会を有効に活用し、学習評価、授業改善を一層推進する。</p>	<p>ア 「授業がわかる」と回答する生徒75%以上</p> <p>イ 授業においてICTを効果的に活用している教員80%以上</p> <p>ウ 年間3回以上の研修会の実施 生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員80%以上</p>	B	<p>ア △「授業が分かる」と回答した生徒は54.2%だった。</p> <p>イ △授業においてICTを効果的に活用している教員は60%程度だった。</p> <p>ウ ◎校内研修を3回実施できた。教科等の研修会に参加して観点別学習評価の運用を学んだ。 ◎生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員は100%だった。</p>

		エ 基礎学力テスト（漢字、計算、英語等）を定期的に実施し、基礎学力の向上を図る。	エ 基礎学力テストの実施年間3回以上 資格検定へチャレンジする生徒3人以上		エ ◎基礎学力テストは年間4回実施できた。 △資格検定に挑戦した生徒は0人だった。
3	進路実現に資する望ましい勤労観・職業観を育成する。	ア 進路講演会や進路セミナー、地域人材を活用した行事などを通して、学びと働くことの重要性を再確認させる。 イ 総合的な探究の時間等を活用し、自らの在り方、生き方を考えさせる。	ア 進路行事参加後の振り返りによる肯定的な評価70%以上 イ 「自分の良いところがある」と回答する生徒70%以上	B	ア ◎進路行事参加後の肯定的な評価は74.4%だった。 イ △「自分の良いところがある」と回答した生徒は50%だった。
4	多様な人々との協働を通して、社会性（コミュニケーション能力）の向上を図る。	ア 生徒が主体的に取り組むホームルーム活動や学校行事を工夫し、生徒会活動の活性化とともに、生徒の参加率を高める。 イ 生活体験発表を通して自己を客観的に見つめるとともに、自分の考え方や思いを伝える力を養う。 ウ 100周年記念式典、演劇鑑賞会、お話の会、食事会等の魅力ある行事を企画し、文化・芸術活動に親しむとともに、生徒が積極的に他者と関わることができるよう指導する。 エ 個人情報の取扱い、スマートフォン等の使用のあり方を含め、様々な場面で人権教育に取り組む。	アイウ 各行事の参加率80%以上、満足度60%以上 各行事の事前・事後指導の実施100% 「人間関係が良い」と回答する生徒70%以上 エ スマートフォンの不適切な使用による指導0件	A	ア ◎バス遠足、ボウリング大会、食の行事等の学校行事を実施できた。 イ ◎校内生活体験発表大会は77.8%の生徒が、県中部地区の生活体験発表大会は72.7%の生徒が肯定的な回答をした。 ウ ◎各種行事の目的を果たすための事前・事後指導を確実に行った。 ○各行事の参加率は76.7%、満足度は74.4%だった。 △「人間関係が良い」と回答した生徒は45.9%だった。 エ ◎スマートフォンの不適切な使用による指導は0件だった。

5	<p>より良い学習環境の整備充実及び安心安全で生き生きと活動できる学校づくりを推進する。</p>	<p>ア 夜間であることを意識した防災訓練、防災設備の点検・補充、通学路における危険箇所チェックを行う。</p> <p>イ ゴミの分別、美化活動を推進し、学習環境の整備を心掛けさせる。</p> <p>ウ 相談室の整備を含め、効果的な活用と相談体制を確立する。</p> <p>エ 情報管理システム及び組織体制の確立を進める。</p> <p>オ 無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を確実に行う。</p> <p>カ 出席状況の報告、ミニミニ通信の配付等を通して、生徒の学習状況、教育活動の内容等を的確に情報発信する。</p> <p>キ ICT 機器や児童採点システムを効果的に活用することで、教員の業務改善を図る。</p>	<p>ア 防災訓練の実施年間2回 地域防災訓練等への参加者数増加</p> <p>イ 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒75%以上</p> <p>ウ 支援が必要だと判断した生徒への面談の実施、SCへの接続100%</p> <p>エ 個人情報の取扱い等に関する不祥事0件</p> <p>オ 不備・未実施等0件</p> <p>カ 出欠報告、ミニミニ通信の発行年6回以上 「通信などを読んでいる」と回答する保護者80%以上</p> <p>キ 「業務が改善された」と感じる教員80%以上</p>	<p>ア ◎防災訓練は年間2回実施できた。 ○地域防災訓練等への参加者数は1人で令和5年度と同数であった。</p> <p>イ △健康や安全に関する高い意識を持つ生徒は50%にとどまった。</p> <p>ウ ◎支援が必要と判断した生徒への面談を実施できた。家庭環境等が複雑な生徒も増加したが、外部人材と連携して対処できた。</p> <p>エ ◎ 情報管理意識を啓発している。不祥事は0件だった。</p> <p>オ ◎ 計画的な施設管理や消耗品購入等が実施できた。</p> <p>カ ◎出欠報告は定期的の実施し、ミニミニ通信は8回発行した。 ○「通信などをよんでいる」と回答した保護者は約7割で昨年度と同程度だった。</p> <p>キ ◎「業務が改善された」と感じた教職員は100%だった。</p>
---	--	--	---	---

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

<全日制> 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
(1)	学ぶ意欲を高める授業や探究力を育む教育の実践により、生徒の学力向上を図る。	授業において、探究的学びや生徒が主体的に課題解決を目指す学びを実現することで、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。	「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する授業が行われている」と回答する生徒・保護者 85%以上	教務 情報 教科
		授業公開、授業評価、各種授業参観・研修による研究を通じて、授業改善を進める。	公開授業を年間2回以上実施した教員 100% 授業参観を自教科、他教科問わず年間4回以上実施した教員 100%	教務 研修
		生徒が ICT を効果的に活用する授業を実施する。	授業において生徒が ICT を効果的に活用したと回答する教員 85%以上	情報 教科
		各教科の課題の質や量等を、学年で効果的にコントロールし、課す。 また、生徒のニーズや実態に合致した補講・講習を実施する。	「適切な量の課題が出されている」 「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する補講が行われている」と回答する生徒 75%以上	教務 進路 学年 教科
		生徒の学力向上に資するテスト作成や指導と評価の一体化を目指した観点別学習状況評価を実施する。	「教科への関心・意欲が高まり学力や技能の向上が実感できた」と回答する生徒 80%以上	教務 教科
		身に付けるべき「8つの力」を意識した授業や総合的な探究の時間を計画・実施する。	「8つの力」の伸長が自覚できる生徒 100%	教科 探究 学年
(2)	生徒一人一人が高い志を持ち、その進路実現のための個に応じた支援を行う。	総合的な探究の時間、LHR、面談等を活用し、生徒一人一人の適性や興味・関心、進路目等に応じた適切な支援を行う。	「志を育む指導が行われている、進路に関する情報が適切に提供されている」と回答する生徒・保護者 85%以上	教務 進路 学年 教務
		進路指導計画（進路指導ロードマップ）に基づき、生徒の志を高め、主体的にキャリアを考えることができるように指導を行う。		
		進路意識を高める進路だより、学年だよりの充実を図る。		
		外部人材等を活用した放課後・土曜日等による、志の育成や学習支援の充実を図る。	「進路実現に向けての学力向上、理解向上に役立った」と回答する生徒の割合が前年度より増加する。	進路 学年
OB講話などを通して、生徒が東高生であるという誇りや将来の目標を持つ機会となることを目指す。	OB講話等に対する生徒の肯定的な回答 80%以上	進路 学年		
(3)	様々な教育活動を通じて、多様な価値観を尊重し、豊かな感性と人間性を育む。	図書委員会活動の充実とともに、図書館だより及び図書新聞による情報提供を継続実施し、読書習慣を涵養する。	図書委員による読書推進活動年4回以上 図書館を利用した生徒数が前年度よりも増加する。 生徒と教職員による広報誌年間20回以上発行	図書
		「8つの力」を意識した校内大会・体育大会等の学校行事を実施する。	「8つの力」の伸長が自覚できる生徒 100%	生徒学 年体育
		演劇鑑賞教室・文化講演会等を適切に実施する。	参加した生徒の満足度 90%以上	図書
		文武両道を実現するための目標設定や取組を通して、部活動の活性化を図る。	「部活動に意欲的に取り組んだ、活動内容や時間が適切である」と回答する生徒・保護者 90%以上	生徒

		生徒会やJRC部等を中心とし、すべての生徒が地域社会貢献活動に積極的に取り組む。	校外活動への参加生徒数が前年度よりも増加する。	生徒
		修学旅行を始め、生徒が国際交流を行う機会を数多く創出する。	参加した生徒の満足度90%以上	学年 国際
(4)	日々の生活において「誠」を尽くし、逞しい心と体を育み、主体的に活動する力を養う。	無事故・無違反を目指し、特に登校時の事故や遅刻の防止、交通ルールの遵守（特に自転車）について指導を徹底する。	全教職員による街頭（登校）指導実施年3回 自転車による登下校中の事故年間20件以下	生徒
		挨拶、時間厳守の励行、スマートフォン・一人一台端末の使用等について学年集会等の機会を通して、継続的に指導を徹底する。	「高校生活について適切に指導が行われている」と回答する生徒・保護者90%以上	生徒 学年
		校外主催の様々な行事、コンクール、大会等への参加を促し、生徒の研究心や探究心を育み、社会課題への意識を高める。	生徒の参加数が前年度よりも増加する。	学年 教科
		人権意識の啓発を図るとともに、「いじめ対策基本方針」に基づき、いじめ防止対策を適切に講じる。また、継続的に、いじめ・体罰・セクハラアンケートを実施する。	いじめによる不登校及び生徒指導0件 「頼れる先生がいる」と回答する生徒・保護者が85%以上	生徒 相談 学年
(5)	保護者・外郭団体・地域等との連携により、存在感ある学校を実現する。	P T A等外郭団体との連携により、進路指導支援員、図書支援員、S Cを配置し生徒への支援の充実を図る。	「東高に入学してよかった」と回答する生徒・保護者85%以上	進路 図書 相談
		学校HP及びインスタグラムを広報ツールとして有効に活用し、中学校、地域等への情報発信を的確かつ活発に行う。 さらに、本校の魅力を伝えるポスター、広報動画等の作成、充実を図る。	「情報を適切に伝えている」と回答する生徒・保護者95%以上 地域の中学校への訪問年間3回以上 報道部生徒によるポスター及び卒業生等出演の学校PR動画の作成が実現する。	総務 情報 管理職
		各種行事をP T Aと連携して開催し、P T A活動と学校教育活動両方の活性化を図る。進路研修講演会を効果的に企画し、実施する。	総会や各種行事の出席率50%以上 「参考になった（良かった）」と回答する保護者95%以上	総務 進路
		同窓会等と連携して環境整備等100周年記念事業に係る取組を継続して行う。	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者80%以上	教科 図書 事務
		中学生の高等学校一日体験入学や公開授業日を通じて、広く中学生、保護者、地域に本校の良さを発信する。	「来校目的を達成することができた良かった」と回答する来校者100%	総務 教務
(6)	教育環境の整備・充実及び心理的安全性が確保された学校づくりを進める。	保健委員会活動を活性化し、保健だよりの発行、薬学講座及び学校保健委員会の開催を通じ、健康管理、病気予防、安全に対する意識啓発を図る。 引き続き感染症予防・拡大予防に努める。	「生徒の健康や安全に配慮がされている」と回答する生徒・保護者95%以上	保健
		健康観察、健康相談及びS Cとの連携等、教育相談を丁寧に進め、生徒や保護者への支援充実を図る。		保健 相談 学年
		清掃委員会を核とし、ゴミの分別・減量・持ち帰り等の意識啓発を図り、校内美化を推進する。	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者80%以上	保健 事務

	防災計画及び防災訓練等、不断の点検と見直しを進め、改善を図る。	地域防災訓練の参加率向上 「災害・非常時の避難方法や連絡方法を承知している」と回答する生徒・保護者 80%以上	総務
	情報管理システム及び組織体制の確立を進める。よりよいICT環境整備を促進する。	情報セキュリティインシデント未発生	情報事務
	C-learning や百問繚乱等のソフトを効果的かつ積極的に活用する。	教職員の時間外勤務時間が前年度よりも減少する。	教科 学年 管理職
	無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を確実に行う。	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者 80%以上	事務

<定時制> 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
(1)	基本的な生活習慣の確立と自律心の涵養を図る。	<p>個人面談等を通して生徒の実態を把握し、カウンセリングマインドを持って接することで、自己肯定感を持って前向きな学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>各授業での具体的な方策を通して欠席、遅刻、早退をせず、時間を大切にする意識を育てる。</p> <p>登下校指導や交通安全教室、原付グッドマナー講習会などを通じて安全意識を高める。</p> <p>日常指導や行事を通じ、健康や命の大切さについて考えさせる。また、感染症予防を徹底する。</p>	<p>面接週間以外で面接を実施した教員 100% 「相談できる教員がいる」と回答する生徒、保護者 80%以上</p> <p>授業の遅刻・早退数が前年度より減少</p> <p>通学時の交通事故0件</p> <p>「保健だより」の発行年5回以上 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 75%以上</p>	教務 生徒 保健
(2)	学ぶ意欲を高め、基礎学力等の定着を図る。	<p>生徒一人一人の理解度を把握し発表や質問等を大切にする授業を行う。</p> <p>ICT機器の活用、教材の工夫等により、主体的な取組を促すとともに、授業を大切にする姿勢を高める。</p> <p>校内研修や教科研究会等の機会を有効に活用し、学習評価、授業改善を一層推進する。</p> <p>基礎学力テスト（漢字、計算、英語等）を定期的実施し、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>「授業がわかる」と回答する生徒 75%以上</p> <p>授業においてICTを効果的に活用している教員 80%以上</p> <p>年間3回以上の研修会の実施 生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上</p> <p>基礎学力テストの実施年間3回以上 資格検定へチャレンジする生徒3人以上</p>	教務 教科
(3)	進路実現に資する望ましい勤労観・職業観を育成する。	<p>進路講演会や進路セミナー、地域人材を活用した行事などを通して、学びと働くことの重要性を再確認させる。</p>	<p>進路行事参加後の振り返りによる肯定的な評価 70%以上</p>	教務

		総合的な探究の時間等を活用し、自らの在り方、生き方を考えさせる。	「自分の良いところがわかる」と回答する生徒70%以上	
(4)	多様な人々との協働を通して、社会性（コミュニケーション能力）の向上を図る。	少人数であることを生かした、主体的に取り組めるホームルーム活動や学校行事を考え、生徒会活動の活性化とともに、生徒の参加率を高める。	各行事の参加率 80%以上、満足度 60%以上 各行事の事前・事後指導の実施 100% 「人間関係が良い」と回答する生徒 70%以上	生徒
		生活体験発表を通して自己を客観的に見つめるとともに、自分の考え方や思いを伝える力を養う。		
		演劇鑑賞会、お話の会、食事会等の魅力ある行事を企画し、文化・芸術活動に親しむとともに、生徒が積極的に他者と関わることができるよう指導する。		
		個人情報 の 取扱い、スマートフォン等の使用のあり方を含め、様々な場面で人権教育に取り組む。	スマートフォンの不適切な使用による指導 0 件	
(5)	より良い学習環境の整備充実及び安心安全で生き生きと活動できる学校づくりを推進する。	夜間であることを意識した防災訓練、防災設備の点検・補充、通学路における危険箇所チェックを行う。	防災訓練の実施年間 2 回 地域防災訓練等への参加者数増加	教務 保健 相談 事務
		ゴミの分別、美化活動を推進し、学習環境の整備を心掛けさせる。	健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 75%以上	
		相談室の整備を含め、効果的な活用と相談体制を確立する。	支援が必要だと判断した生徒への面談の実施、S C への接続 100%	
		情報管理システム及び組織体制の確立を進める。	個人情報の取扱い等に関する不祥事 0 件	
		無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を確実に進行。	不備・未実施等 0 件	
		出席状況の報告、ミニミニ通信の配付等を通して、生徒の学習状況、教育活動の内容等を的確に情報発信する。	出欠報告、ミニミニ通信の発行年 6 回以上 「通信などを読んでいる」と回答する保護者 80%以上	
		I C T 機器や自動採点システムを効果的に活用することで、教員の業務改善を図る。	「業務が改善された」と感じる教員 80%以上	

4 監査対象期間における特色ある取組

<全日制>

	取組概要	成果及び課題
6 年 度	「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」及び「行きたい学校推進事業（次世代教員養成システム・カリキュラムの構築指定校）」	<ul style="list-style-type: none"> ・校内のICT環境を整備し、ICTを活用した教育活動を推進した。 ・「社会課題を考察する総合的な探究」として、2年生が学校祭のクラス展において、SDGsを核とした探究活動を行った。ICT機器を活用して、その報告プレゼンテーションを実施した。大学から講師を招聘し、代表者のプレゼンテーションを評価していただいた。 ・大学の模擬授業、大学訪問等を実施し、生徒の学力向上及び進路意識を向上させた。 ・教員が大学訪問を行い、大学教育、教員養成プログラムについて理解を深めた。 ・教育実習生を積極的に受け入れ、在校生との交流を実施した。 ・静岡大学及び焼津中央高校と連携し、教員養成を目指した講座等を実施し、特徴あるカリキュラムの実践を行った。
	グランドデザインの周知と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ミッションのもと定めたグラデュエーション・ポリシーで示した「生徒が身につける8つの力」の意味を生徒に周知して積極的な取組を促し、教員が学校行事や授業でグラデュエーション・ポリシーを意識した指導を実践した。 ・定期的な振り返りの機会を設け、グランドデザインを軸に生徒自身が自己の成長を実感する機会となった。
	学ぶ意欲の喚起、主体性を伸ばす授業や指導の改善による生徒の学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器等を積極的かつ有効に活用し「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導の工夫と授業改善を図った。 ・教員間の授業参観を実施すること等で指導方法の改善を進めた。 ・観点別評価の検討を行い、適切な評価方法の研究を進める。 ・探究課を中心に「総合的な探究の時間」の指導計画改善及び運営を進めた。
	高い志を抱き、進路実現を果たすための適切な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「DXハイスクール」「行きたい学校づくり」事業の積極的な活用及び総合的な探究の時間、LHR、面談等を活用して生徒の進路実現に向け支援を行った。 ・大手予備校講師による放課後補講を実施した。（2年生Sクラス及び希望者対象：年間21回） ・大手予備校講師による夏季集中講座を実施する。（2、3年生希望者対象：3日間） ・進路指導ロードマップを活用し、生徒の志をかきたて、主体的にキャリアを考えられるよう指導する。
	学校行事等の協働による多様性、国際性、豊かな感性、思いやりの心等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・新設図書館の活用方法を工夫しながら、生徒の読書習慣を涵養するために、図書委員会活動を充実させ、図書館だより及び図書新聞による情報提供を実施した。 ・文化祭、校内大会、体育大会で、生徒の主体的・意欲的な取組を推進した。 ・文武両道を実現するための目標設定や取組を通して、部活動の活性化を図った。 ・ボランティア活動や留学等、外部のさまざまな活動への参加を促した。

<p>社会への主体的なかかわりによる自立した社会性・公共性の習得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、時間厳守の励行、交通マナーの遵守等について集会等の機会を通して、継続的な指導を行った。 ・スマートフォンの使用方法について生徒会と協議をしながら、適切な使用を促した。 ・校外主催の様々な行事、コンクール、大会等への参加を促し、生徒の研究心や探究心を育み、社会課題への意識を高めた。 ・人権意識の啓発を図るとともに、「いじめ対策基本方針」に基づき、いじめ防止対策を適切に講じた。また、継続的に、いじめ・体罰アンケートを実施し、実態把握に努めた。
<p>保護者・関係団体・地域等との連携による信頼される学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA等外郭団体との連携により、進路指導支援員、図書館支援員、スクールカウンセラーを継続配置し、生徒支援の充実を図った。 ・学校ホームページの積極的な更新と、学校公式インスタグラムを随時更新することで、広報活動の充実を図った。 ・感染対策や熱中症対策に注力しながら各種行事をPTAと連携して開催し、PTA活動と学校教育活動の活性化を図った。 ・創立100周年記念式典（令和6年11月20日に開催）を成功させるため、記念事業実行委員会と校内実行委員会の連携を深め、記念式典、記念行事、記念誌等の業務を進めることができた。 ・中学生一日体験入学(外部施設の利用)や公開授業を通じて、広く中学生、保護者、地域に本校の良さを理解してもらう場面を設定した。
<p>学習環境の整備充実と安心安全な学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策・熱中症対策に重点を置き、保健だよりの発行、薬学講座及び学校保健委員会を開催し、健康管理、病気予防、熱中症予防等の安全に対する生徒及び保護者の意識啓発を図った。 ・健康相談及びスクールカウンセラーとの連携等、教育相談を丁寧に進め、生徒や保護者への支援を図った。 ・清掃委員会からの呼びかけにより、ゴミの分別・減量・持ち帰り等の意識啓発を図り、校内美化を推進した。 ・防災計画及び防災訓練等、点検と見直しを継続し、改善を図った。 ・情報セキュリティインシデントが発生しないよう、情報管理システム及び組織体制の確立を進めた。 ・無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を行った。

	取組概要	成果及び課題
7 年 度	「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」及び「行きたい学校推進事業（次世代教員養成システム・カリキュラムの構築指定校）」	<ul style="list-style-type: none"> ・校内のICT環境を整備し、ICTを活用した教育活動を推進する。 ・「社会課題を考察する総合的な探究」として、2年生が学校祭のクラス展において、SDGsを核とした探究活動を行う。ICT機器を活用して、その報告プレゼンテーションを実施する。大学から講師を招聘し、代表者のプレゼンテーションを評価していただく。 ・大学の模擬授業、大学訪問等を実施し、生徒の学力向上及び進路意識を向上させる。 ・教員が大学訪問を行い、大学教育、教員養成プログラムについて理解を深める。 ・教育実習生を積極的に受け入れ在校生との交流の場を設ける。 ・大学及び連携校と連携し、教員養成を目指した講座等を実施し、特徴あるカリキュラムの実践を行う。
	学校経営計画書の周知と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ミッションのもと定めたグラデュエーション・ポリシーで示した「生徒が身につける8つの力」の意味を生徒に周知して積極的な取組を促し、教員が学校行事や授業でグラデュエーション・ポリシーを意識した指導を実践する。次年度に向け「8つの力」を見直し、精選していきたい。 ・定期的な振り返りの機会を設け、グラデュエーション・ポリシーを軸に生徒自身が自己の成長を実感する機会とする。
	学ぶ意欲の喚起、主体性を伸ばす授業や指導の改善による生徒の学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器等を積極的かつ有効に活用し「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導の工夫と授業改善を行い、教員の授業力向上につなげる。 ・教員間の授業参観を実施し、指導方法の改善を進める。 ・観点別評価の在り方の研究を行い、引き続き適切な評価につなげる。 ・「総合的な探究の時間」の指導計画改善及び運営を進める。
	高い志を抱き、進路実現を果たすための適切な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「DXハイスクール」「行きたい学校づくり」事業の積極的な活用及び総合的な探究の時間、LHR、面談等を活用して生徒の進路実現に向け適切な支援を行う。 ・大手予備校講師による放課後補講を実施する。（2年生Sクラス及び希望者対象：年間21回） ・大手予備校講師による夏季集中講座を実施する。（2、3年生希望者対象：3日間） ・進路指導ロードマップを活用し、生徒の志をかきたて、主体的にキャリアを考えられるよう指導する。
	学校行事等の協働による多様性、国際性、豊かな感性、思いやりの心等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・新設図書館の活用方法を工夫しながら、生徒の読書習慣を涵養するために、図書委員会活動を充実させ、図書館だより及び図書新聞による情報提供を実施する。 ・文化祭、校内大会、体育大会で、生徒の主体的・意欲的な取組を推進する。 ・文武両道を実現するための目標設定や取組を通して、部活動の活性化を図る。 ・ボランティア活動や留学等、外部のさまざまな活動への積極的な参加を促す。
	社会への主体的なかわりによる自立し	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、時間厳守の励行、交通マナーの遵守等について集会等の機会を通して、継続的に指導を徹底する。

	た社会性・公共性の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの使用方法について生徒会と協議をしながら、適切な使用を促す。 ・校外主催の様々な行事、コンクール、大会等への参加を促し、生徒の研究心や探究心を育み、社会課題への意識を高める。 ・人権意識の啓発を図るとともに、「いじめ対策基本方針」に基づき、いじめ防止対策を適切に講じ、継続的に、いじめ・体罰アンケートを実施し、実態把握に努める。
	保護者・関係団体・地域等との連携による信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA等外郭団体との連携により、進路指導支援員、図書館支援員、スクールカウンセラーを継続配置し、生徒支援の充実を図る。 ・学校ホームページの積極的な更新と、学校公式インスタグラムを随時更新することで、広報活動の充実を図る。 ・感染対策や熱中症対策に注力しながら各種行事をPTAと連携して開催し、PTA活動と学校教育活動両方の活性化を図る。 ・中学生一日体験入学(外部施設の利用)や公開授業を通じて、広く中学生、保護者、地域に本校の良さを理解してもらおう場面を設定する。
	学習環境の整備充実と安心安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策・熱中症対策に重点を置き、保健だよりの発行、薬学講座及び学校保健委員会を開催し、健康管理、病気予防、熱中症予防等の安全に対する生徒及び保護者の意識啓発を図る。 ・健康相談及びスクールカウンセラーとの連携等、教育相談を丁寧に進め、生徒や保護者への支援充実を図る。 ・清掃委員会からの呼びかけにより、ゴミの分別・減量・持ち帰り等の意識啓発を図り、校内美化を推進する。 ・防災計画及び防災訓練等、点検と見直しを継続し、改善を図る。 ・情報セキュリティインシデントが発生しないよう、情報管理システム及び組織体制の確立を進める。 ・無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を確実に図る。

<定時制>

	取組概要	成果及び課題
6 年 度	自律心の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による面談の機会を多く設定して、生徒の実態を把握した。受容と共感の姿勢をもって接することで、生徒が自己肯定感をもって、前向きに学校生活を送ることが出来るように取り組んだ。 ・普段の学校生活において、欠席・遅刻・早退をせず、時間を大切にすることを意識を育てることで、自律心の涵養を図った。 ・インフルエンザ等の感染症に対する理解を深め、感染防御の方法を学びながら自発的に健康管理等に取り組む姿勢を育てた。
	基礎学力等の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒の学習履歴をふまえて、生徒にあった授業を展開した。 ・漢字の学習を中心に、英語や計算の基礎力テストを計画的に実施し、基礎学力の定着に努めた。 ・漢字検定など資格検定へのチャレンジを促すことで学習意欲の向上を図った。 ・ICT機器を効果的に活用しながら、授業形態や学習内容を工夫して生徒の意欲関心を高め、学力の定着を図った。
	勤労観・職業観の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による進路セミナー、進路講演会、プロの講義を通して、勤労や職業に関する理解を深めた。

	取組概要	成果及び課題
		<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間等を活用し、各種適性検査の実施やライフプランの作成などに取り組みさせることで、生徒のキャリア形成に向かう意識を向上させた。

	取組概要	成果及び課題
7 年 度	自律心の涵養	<ul style="list-style-type: none"> クラス担任による面談の機会を多く設定し、生徒の実情の把握に努める。学校生活をはじめとする生活全般の悩みを受け止め、共感する姿勢をもちつつ適切な助言をすることで、生徒が自己肯定感を高め、前向きに学校生活を送ることができるように支援する。 生徒への声掛けや定期的な健康調査を行い、生活の様子を把握しつつ欠席・遅刻・早退の数を減らしていけるような方法を生徒とともに考え、基本的な生活習慣の確立を促す。 熱中症や感染症の予防法をはじめ落雷等への対処法を伝え、健康や命を守る姿勢を育成する。
	基礎学力等の定着	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の学習への習熟度を把握し、個別に対応する授業を行う。 国語、英語、計算について定期的に基礎学力テストを行い、基礎学力の定着に努める。 教科研修会への積極的な参加を促し、授業改善につなげることで生徒の学習意欲の向上を図る。 ICT機器の活用法や教材の工夫等によって「わかる授業」づくりに努める。
	勤労観・職業観の育成	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による進路セミナー実施や専門家による講義を通じて進路意識の向上を図る。 総合的な探究の時間を活用し、学校と自分の関りを考えたり、適性検査で自分の適性や特徴を把握したりなどを通じて自分の在り方・生き方について考え、キャリアプランニング形成能力を育成する。

5 教職員について

(1) 異動状況

全日制

職名 区分	教育職員						行政職員						中 計	臨時・会計年度任用職員								合 計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主幹	主査	主任	主事		小計	教諭(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	部活動指導員	非常勤労務職員	スクールカウンセラー		小計
減	転出		1		6		7	1	1		1		3	10								0	10
	退職	1	1		2		4						0	4	1	1	2	2	1	1		8	12
	昇任						0						0	0								0	0
	役職定年						0						0	0								0	0
	小計	1	2	0	8	0	0	11	1	1	0	1	0	3	14	1	1	2	2	1	1	0	8
増	転入	1	2		4		7	1	1	1			3	10								0	10
	新任				2		2						0	2	1	1	4	2	2	1	1	12	14
	昇任						0						0	0								0	0
	役職定年						0						0	0								0	0
	小計	1	2	0	6	0	0	9	1	1	1	0	0	3	12	1	1	4	2	2	1	1	12
差引増減	0	0	0	△2	0	0	△2	0	0	1	△1	0	0	△2	0	0	2	0	1	0	1	4	2

定時制

職名 区分	教育職員						行政職員						中 計	臨時・会計年度任用職員								合 計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主幹	主査	主任	主事		小計	教諭(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	部活動指導員	非常勤労務職員	スクールカウンセラー		小計
減	転出			1	1		2						0	2								0	2
	退職						0						0	0			1					1	1
	昇任						0						0	0								0	0
	役職定年						0						0	0								0	0
	小計	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1
増	転入			1			1						0	1								0	1
	新任						0						0	0			1					1	1
	昇任						0						0	0								0	0
	役職定年						0						0	0								0	0
	小計	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2
差引増減	0	0	0	△1	0	0	△1	0	0	0	0	0	0	△1	0	0	0	0	0	0	0	0	△1

(2) 現員数

職名 区分	教育職員						行政職員						中 計	臨時・会計年度任用職員								合 計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主幹	主査	主任	主事		小計	教諭(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	部活動指導員	非常勤労務職員	スクールカウンセラー		小計
全日制	男		1		34		35	1		1			2	37			6		3	2		11	48
	女	1		1	14	1	18		1	1		1	3	21		1	1			1	1	4	25
	計	1	1	1	48	1	1	53	1	1	2	0	1	5	58	0	1	7	0	3	3	1	15
定時制	男			1	3		4					1	1	5			2					2	7
	女					1	1						0	1			2					2	3
	計	0	0	1	3	1	0	5	0	0	0	0	1	1	6	0	0	4	0	0	0	0	4
合計	1	1	2	51	2	1	58	1	1	2	0	2	6	64	0	1	11	0	3	3	1	19	83

(3) 健康管理について

ア 令和6年度

- (ア) 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染予防について周知し、健康の自己管理を促した。
- (イ) 感染拡大防止のため、体調不良時の対応の迅速化を図った。
- (ウ) 健康診断の全員受診を推進し、精密検査を要する者について再検査の徹底を図った。
- (エ) 要治療者には、定期的に検査を受け、健康管理に留意するよう促した。
- (オ) 健康診断の結果を参考にして、心身の健康の保持増進を図るように個々に指導した。
- (カ) 毎月の健康相談日を設けて、職員に健康管理医の健康相談を受ける機会を設けた。
- (キ) 定時退勤日を設定し、メンタルヘルスの保持、ワーク・ライフ・バランスの推進を図った。
- (ク) 教育厚生課が行うストレスチェックの全員実施を促した。
- (ケ) 感染症予防対応を含めた、職場環境の整備を図った。

イ 令和7年度

- (ア) 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染予防、熱中症予防について周知し、健康の自己管理を促す。
- (イ) 感染拡大防止のため、体調不良時の対応の迅速化を図る。
- (ウ) 健康診断の全員受診を推進し、精密検査を要する者について再検査の徹底を図る。
- (エ) 要治療者には、定期的に検査を受け、健康管理に留意するよう促す。
- (オ) 健康診断の結果を参考にして、心身の健康の保持増進を図るように個々に指導する。
- (カ) 毎月の健康相談日を設けて、職員に健康管理医の健康相談を受ける機会を設ける。
- (キ) 定時退勤日を設定し、メンタルヘルスの保持、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
- (ク) 教育厚生課が行うストレスチェックの全員実施を促す。
- (ケ) 感染症、熱中症予防対応を含めた、職場環境の整備を図る。

(4) 教職員の研修について

<全日制>

【令和6年度】

研修項目	研修目的	実績（成果）と課題
校内授業研修	次期学習指導要領の改訂や大学入試改革に向けて、今後の授業がどうあるべきか研究する必要があると考え、より一層の授業力及び資質能力の向上を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・6月と10月に、教職経験10年以内の若手教員を中心に、「学校改革につながる教育活動」のテーマで、チーム研修を実施した。 ・指導主事定期訪問時に「授業改善のための学習評価」をテーマに全体研修会を実施した。 ・年間1回の「授業参観推進期間」を設け、担当教科と担当外教科をすべての教員が相互に授業参観を行うことで授業改善を促すことができた。
特別支援教育（教育相談）研修	多様化する生徒への適切な対応を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問で、新入生に関する情報収集を実施した。 ・発達障害をテーマとした職員研修を行い、生徒理解に努めた。 ・生徒支援委員会を随時開催し、特別な教育的配慮を必要とする生徒について、担任・学年・相談室・保健室が連携し、スクールカウンセラーからの助言をもとに情報共有と支援方法の検討を行い、その後職員全体で共有し、該当生徒への支援を実施した。また、必要に応じて専門医の紹介や橋渡しを行うことができた。

進路指導研修	生徒の学力と適性を的確に判断し、適切な進路指導ができるようにする。今年度から始まる大学入試改革等の情報収集と共有を確実に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試報告会、予備校主催のセミナー報告会、職員研修、進路課からの情報提供、職員会議等の情報により、高大接続及び大学入試改革の最新情報を共有し、担任が個々の生徒について適切な進路指導ができるような支援ができた。
不祥事根絶研修	不祥事根絶意識の涵養を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 外部人材を交えたコンプライアンス委員会による研修会を年2回実施し、その内容を全職員で共有できた。 コンプライアンス通信を活用し、不祥事根絶を随時呼び掛けることができた。
職員交通安全研修	交通安全意識の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 事故や違反に関する事例の紹介を通じて、交通安全意識の高揚に努めることができた。

【令和7年度】

研修項目	研修目的	実績（成果）と課題
校内授業研修	次期学習指導要領の改訂や大学入試改革に向けて、今後の授業がどうあるべきか研究する必要があると考え、より一層の授業力及び資質能力の向上を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 6月と10月に、教職経験10年以内の若手教員を中心に、「発達支援的・課題予防的生徒指導」のテーマで、チーム研修を実施する。 指導主事の定期訪問時に「発達支援的・課題予防的生徒指導」をテーマに全体研修会を実施する。 年間2回の「授業参観推進期間」を設け、担当教科と担当外教科をすべての教員が相互に授業参観を行うことで授業改善を促す。
特別支援教育（教育相談）研修	多様化する生徒への適切な対応を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問で、新入生に関する情報収集を実施する。 発達障害をテーマとした職員研修を行い、生徒理解に努める。 生徒支援委員会を随時開催し、特別な教育的配慮を必要とする生徒について、担任・学年・相談室・保健室が連携し、スクールカウンセラーからの助言をもとに情報共有と支援方法の検討を行い、その後職員全体で共有し、該当生徒への支援を実施した。また、必要に応じて専門医の紹介や橋渡しを行う。
進路指導研修	生徒の学力と適性を的確に判断し、適切な進路指導ができるようにする。今年度から始まる大学入試改革等の情報収集と共有を確実に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試報告会、予備校主催のセミナー報告会、職員研修、進路課からの情報提供、職員会議等の情報により、高大接続及び大学入試改革の最新情報を共有し、担任が個々の生徒について適切な進路指導ができるよう支援する。
不祥事根絶研修	不祥事根絶意識の涵養を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 外部人材を交えたコンプライアンス委員会による研修会を年2回実施し、その内容を全職員で共有する。 コンプライアンス通信を活用し、不祥事根絶を随時呼び掛ける。
職員交通安全研修	交通安全意識の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 事故や違反に関する事例の紹介を通じて、交通安全意識の高揚に努める。

< 定時制 >

【令和6年度】

研修項目	研修目的	実績(成果)と課題
校内研修 (テーマ設定)	発達支持的な生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な事情を抱える生徒に対する支援技術等を学び、日々の業務に反映させるように取り組んだ。 ・教職員が“生徒の自尊心を損なわないように複雑な事情を聞き出す技術”を学び、日常業務を円滑に進められるように取り組んだ。
不祥事根絶研修	保護者への理解を図りながら、不祥事根絶の意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会の場で、不祥事根絶に向けた取組について意見交換を行った。 ・校内研修を通して、チーム意識の高揚を図り、組織として不祥事根絶に取り組む体制づくりを進めた。
人権教育研修	多様な生徒の実態を的確に把握し、適切な生徒対応ができる能力を修得すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権について学ぶことで適切な生徒指導を理解し対応できるように努めた。 ・人権を害するパワーハラスメントの研修を通して、教職員としての行動を見つめ直した。

【令和7年度】

研修項目	研修目的	実績(成果)と課題
発達支持的な生徒指導研修	生徒の成長を促す生徒指導の在り方や方法について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自発的、主体的に自らを発達させていく過程を支えるための方法を学ぶ。 ・生徒が自他を尊重しつつ、自分の目標を立てそれを実現していく態度を育むための指導方法を学ぶ。
不祥事根絶研修	不祥事根絶の意識を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス通信を用い、不祥事の原因に注目し、原因になる事象に対する注意を喚起する。 ・保護者を交えて不祥事根絶にむけて本課程が取り組んでいる事柄について意見を交換する。
いじめ防止研修	昨年度改訂されたガイドラインの確認と いじめ防止に関する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止に関する法令やいじめの定義の変遷を確認し、いじめ防止について理解する。 ・いじめ対応確認シートを活用し、いじめに対しての対応手順や方法を学ぶ。
人権教育研修	人権に対する正しい理解を深めつつ、自己の人権感覚を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚確認シートを活用し、意識せずうっかり行っている行為が他者の人権を侵害していないかを確認する。 ・合理的配慮と特別支援教育の相違点を学び、これらを上手に組み合わせることで障害をもつ生徒の人権を守るために取り組む体制づくりを進める。

6 防災対策について

火災予防と地震防災を学校防災の柱として、生徒及び職員の安全と施設設備の保全のため、次の事項を実施し防災に努めている。

(1) 生徒

<全日制>

	実施月日	名 称	参加学年	内 容
6 年 度	7月10日	避難誘導訓練	全学年	地震発生を想定した校舎内から校庭への避難訓練、地区別集合訓練等を実施
	12月9日	避難誘導訓練	1・2学年	地震発生を想定した校舎内から校庭への避難訓練、地区別集合訓練等を実施

実績（成果）と課題……避難訓練は、防災意識を喚起する意味で効果があった。地区別招集で地区ごとに行動確認をさせたことは、生徒一人ひとりの防災意識を喚起させる意味で効果があった。総合防災訓練がコロナ前に戻り実施されることから、参加をどう呼びかけていくかが課題。

	実施月日	名 称	参加学年	内 容
7 年 度	5月12日	避難誘導訓練	全学年	地震発生を想定した校舎内から校庭への避難訓練、地区別集合訓練等
	10月20日	避難訓練	全学年	授業時に地震発生した場合の対応を確認する訓練
	12月19日	救護訓練	1・2学年	地震発生を想定した校舎内から校庭への避難訓練、地区別集合訓練等

<定時制>

	実施月日	名 称	参加学年	内 容
6 年 度	4月11日	避難誘導訓練	全学年	学校での火災発生を想定した避難訓練、学年別・地区別の集合訓練、火災についての注意事項確認、消火器の使い方について説明
	9月2日	避難誘導訓練	全学年	学校での地震発生を想定した避難訓練、学年別・地区別の集合訓練、大規模地震発生後の下校方法調査確認、地震についての意識と注意事項確認
7 年 度	4月11日	避難誘導訓練	全学年	学校での火災発生を想定した避難訓練、学年別・地区別の集合訓練、火災についての注意事項確認、火災についての予備知識Q&A、消火器の使い方について説明
	9月1日	避難誘導訓練	全学年	学校での地震発生を想定した避難訓練、学年別・地区別の集合訓練、大規模地震発生後の下校方法調査確認、地震についての注意事項確認、非常備品の確認

実績（成果）と課題……防災に関して、生徒の身近な事柄について具体的な注意を説明することで、生徒の防災意識が高まった。今後は夜間の停電を想定した避難訓練等にも挑戦したい。

(2) 教職員

次の事項を実施している。

- ア 防災計画に基づき、職員の役割分担を決め、平常時及び緊急災害発生時における職員の取るべき行動を明確にする。
- イ 危険物及び火気取扱場所を明示し、部屋ごとに火元責任者を置き、その責任において取扱い及び行動点検を実施する。
- ウ 消火器、消火栓、火災報知器、救助袋、救命用具等の点検整備を定期的に行う。
- エ 避難訓練実施時に、職員の役割等を確認する。

(3) 地域連携

- ア 自主防災会が中心となり、藤枝市の防災担当部局と学校とが連携した藤枝地区地域防災連絡会が実施され、被災時の避難所開設に伴う取決め事項等の確認を行っている。令和6年度は6月、令和7年度も6月に実施した。
- イ 非常時の防災体制の充実を図るため、藤枝東高地域防災連絡会を開催し、本校の施設案内と避難施設の確認を行っている。令和6年度は11月開催。令和7年度も12月に開催予定。

7 学校開放について

学校施設開放委員会に申請のあった体育施設等の利用状況は下記のとおりである。

年 度		令 和 6 年 度			令 和 7 年 度(7.9.30現在)		
施設名	利用種目	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用者負担分 (円)	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用者負担分 (円)
第1運動場	サッカー(注)	244	17,255	154,400	132	9,375	86,497
	サッカー(注)	9	56	5,697	6	39	3,869
新体育館	バスケットボール	40	2,320	8,977	21	1,218	4,936
	合気道	48	236	4,427	22	105	2,084
	卓球	42	267	8,170	22	127	4,211
	バレーボール	34	484	7,651	23	247	5,430
旧体育館	太極拳	32	284	11,593	17	200	7,324
校舎	藤枝東高等学校 P T A	25	12,670	163,028	12	6,053	0
計		474	33,572	363,943	255	17,364	114,351

* 利用者負担額は全額電気料のみ

(注) サッカーは2団体が利用しているため、別々に記載している。

事務執行の根拠法令調

項 目	根 法 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1～3条、第6、7条、第11、12条、第50～62条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 学校教育法（第137条）
2 学校の管理・運 営に関する こと	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） いじめ防止対策推進法 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県公立高等学校等学び直し支援金事務処理要綱 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要綱 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（第9条） 静岡県個人情報保護条例 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

□□□□□

学校施設の概要

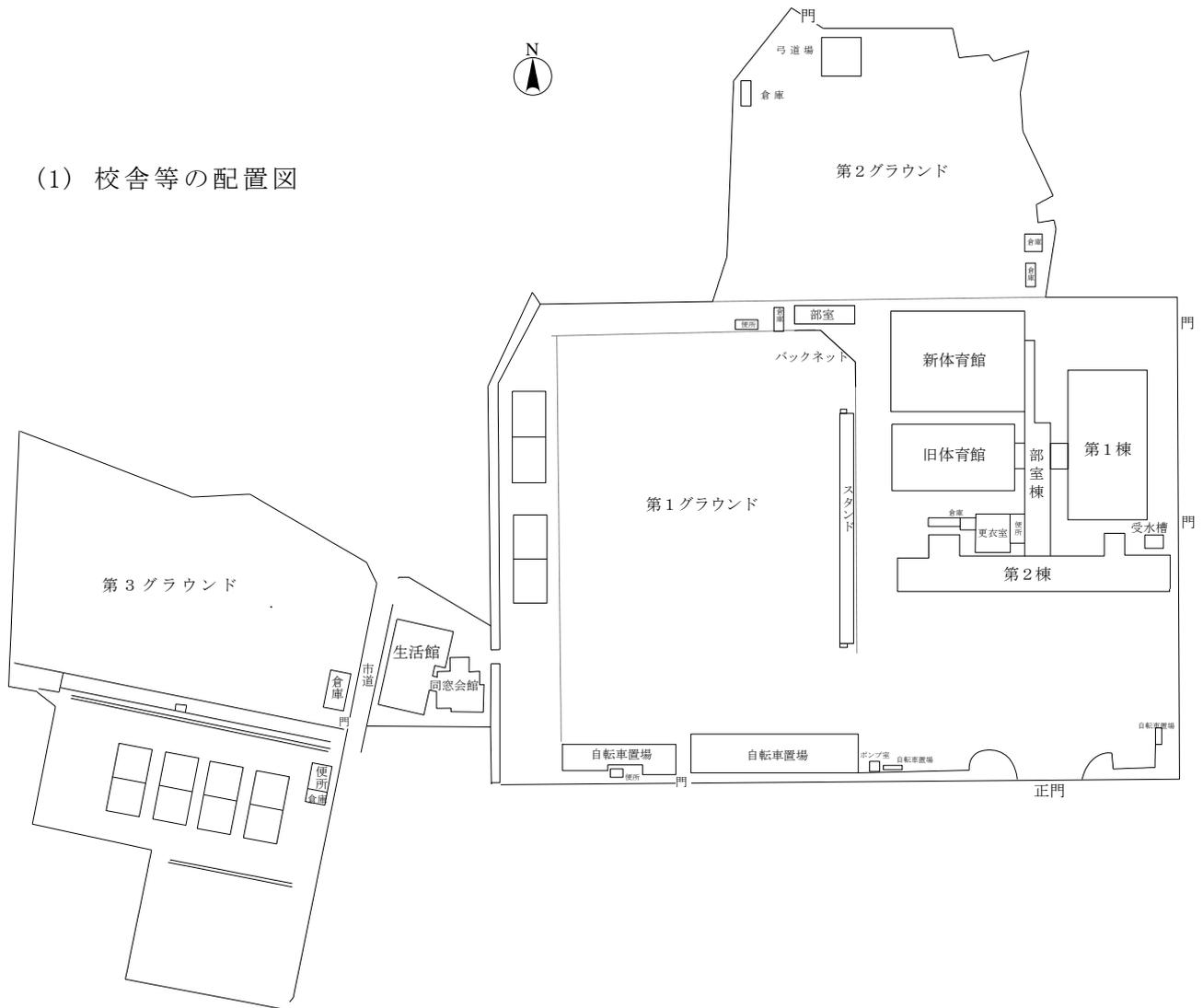
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学 校 敷 地	47,855.39	47,855.39					
内 訳	校舎敷地	12,451.99	12,451.99				
	運動場敷地	35,403.40	35,403.40				
校 舎	<u>建2,098.69</u> 延7,948.10	<u>建2,098.69</u> 延7,948.10					
体 育 館	<u>建2,179.68</u> 延3,550.84	<u>建2,179.68</u> 延3,550.84					
武 道 場 (体育館内)	<u>建 585.90</u> 延 585.90	<u>建 585.90</u> 延 585.90					
その他の建物	<u>建1,826.49</u> 延2,531.99	<u>建1,577.29</u> 延2,160.58			<u>建57.86</u> 延57.86	<u>建191.34</u> 延201.33	民有は 同窓会館・部活動倉庫・弓道部更衣室 後援会有は サッカー部部室兼倉庫・ レジャー収納庫物品庫
生 活 館	<u>建400.04</u> 延607.91				<u>建400.04</u> 延607.91		
プ ー ル	—	—					
職 員 住 宅	—	—					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	47,855.39m ²	7,948.10m ²	35,403.40m ²
県平均	45,574.48m ²	9,782.41m ²	22,506.84m ²

在 籍 生 徒 調

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別 区分		全日制普通科				定時制普通科				(合 計)			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入 学 者		280	157	137	294					280	157	137	294
	増 加 減 少													
				1			1					1		
現 在			156	137	293						156	137	293	
2年	入 学 者		280	168	121	289					280	168	121	289
	増 加 減 少													
				3	2		5					3	2	
	2年時当初			165	119	284						165	119	284
	増 加 減 少													
				1			1					1		
現 在			164	119	283						164	119	283	
3年	入 学 者		280	160	127	287	40	2	5	7	320	162	132	294
	増 加 減 少			(1)		(1)						(1)		(1)
				2			2	1	1	2		3	1	4
	2年時当初			159	127	286		1	4	5		160	131	291
	増 加 減 少													
					2		2						2	
	3年時当初			159	125	284		1	4	5		160	129	289
	増 加 減 少													
			1			1		1	1		1	1		2
現 在			158	125	283		1	3	4		159	128	287	
4年	入 学 者						40	3	3	6	40	3	3	6
	増 加 減 少													
								2		2		2		2
	2年時当初							1	3	4		1	3	4
	増 加 減 少													
	3年時当初							1	3	4		1	3	4
	増 加 減 少													
								1	1	2		1	1	2
	3修卒													
4年時当初								2	2			2	2	
増 加 減 少														
現 在								2	2			2	2	
合 計				478	381	859		1	5	6		479	386	865

□□□□□

入学志願者及び入学者数調

〈全日制〉

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		280	280	280	280	280
募集者数 (B)		280	280	280	280	280
志願者数	男	176	183	174	182	177
	女	113	127	134	127	147
	計(C)	289	310	308	309	324
受検者数	男	171	180	173	181	177
	女	113	127	133	126	147
	計(D)	284	307	306	307	324
合格者数	男	170	166	160	168	157
	女	111	121	127	121	137
	計(E)	281	287	287	289	294
志願倍率 (C)/(B)		1.03	1.11	1.10	1.10	1.16
受検倍率 (D)/(B)		1.01	1.10	1.09	1.10	1.16
入学者数	男	170	166	160	168	157
	女	111	121	127	121	137
	計 (F)	281	287	287	289	294
充足率 (F)/(A)		1.00	1.03	1.03	1.03	1.05

〈定時制〉

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		40	40	40		
募集者数 (B)		40	40	40		
志願者数	男	11(1)	5	2		
	女	3(1)	3	4(1)		
	計(C)	14(2)	8	6(1)		
受検者数	男	10(1)	5	2		
	女	3(1)	3	4(1)		
	計(D)	13(2)	8	6(1)		
合格者数	男	7	3	2		
	女	3(1)	3	4(1)		
	計(E)	10(1)	6	6(1)		
志願倍率 (C)/(B)		0.35	0.2	0.15		
受検倍率 (D)/(B)		0.33	0.2	0.15		
入学者数	男	6	3	2		
	女	4	3	5		
	計 (F)	10	6	7		
充足率 (F)/(A)		0.25	0.15	0.18		

□□□□□

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			定時制普通科		
年 度		4 年 度	5 年 度	6 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
卒業生徒数		280	273	276	13	13	5
(進学志望者)		(280)	(270)	(273)	(1)	(1)	(1)
内 学 者	大学・短大	258	241	252	1	1	1
	専修・各種学校等	9	24	8	0	0	0
	小計	267	265	260	1	1	1
訳	就職者	1	0	0	11	10	0
	自営業	0	0	0	1	0	0
	進学準備者	12	8	16	0	1	0
	その他	0	0	0	0	1	4
合 計		280	273	276	13	13	5

2 求人状況（全日制のみ）

区 分	4 年 度	5 年 度	6 年 度
就職希望者数	0	0	0
求 人 数	0	0	0
求人倍率	0	0	0

3 資格取得状況

全日制及び定時制とも該当なし

□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

〈全日制〉 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	藤枝市	焼津市	島田市	牧之原市	吉田町	静岡市	県内その他	県外	合計
生徒数	385	194	139	33	18	31	34	25	859
構成比%	44.8	22.6	16.2	3.8	2.1	3.6	4.0	2.9	100%

〈定時制〉 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	藤枝市	県外	合計
生徒数	5	1	6
構成比%	83.3	16.7	100%

(2) 通学方法

〈全日制〉 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	交通機関	その他	合計
生徒数	20	802	34	3	859
構成比%	2.3	93.4	4.0	0.3	100%

〈定時制〉 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	四輪	合計
生徒数	2	3	1	6
構成比%	33.3	50.0	16.7	100%

(3) 生徒の年齢

〈定時制〉 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年												0
2年												0
3年			2	2								4
4年											2	2
計	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	6

(4) 生徒の就業状況

〈定時制〉

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年								0
2年								0
3年				3			1	4
4年		1					1	2
計	0	1	0	3	0	0	2	6

2 部(クラブ)の加入状況

〈全日制〉

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		17	11		28
男子	1年	132	24	0	156
	2年	121	34	9	164
	3年	118	35	5	158
	計(A)	371	93	14	478
	構成比	77.6%	19.5%	2.9%	100%
女子	1年	68	69	0	137
	2年	60	59	0	119
	3年	58	66	1	125
	計(B)	186	194	1	381
	構成比	48.8%	50.9%	0.3%	100%
合計	(A+B)	557	287	15	859
	構成比	64.8%	33.4%	1.8%	100%

〈定時制〉

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		2	0		2
男子	1年	0	0	0	0
	2年	0	0	0	0
	3年	0	0	1	1
	4年	0	0	0	0
	計 (A)	0	0	1	1
	構成比	0%	0%	100%	100%
女子	1年	0	0	0	0
	2年	0	0	0	0
	3年	0	0	3	3
	4年	0	0	2	2
	計 (B)	0	0	5	5
	構成比	0%	0%	100%	100%
合計	(A+B)	0	0	6	6
	構成比	0%	0%	100%	100%

授業料収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況						収納の状況				異動者等の状況					
		1年		2年		3年		4年		計			納期内収納額 円	納期後 収納額 円	収入 未済額 円		
		人員	調定額 円	人員	調定額 円	人員	調定額 円	人員	調定額 円	人員	調定額 円					収納率 %	
一期	4																
	5																
	6																
	7			1	8,100					1	8,100	8,100	0	0			A.期首収納権利発生額=8,100円 (1人×2,700円×3月) B.収納権利増減(▲)額=0円 C.収納必要額A±B=8,100円
	計			1	8,100					1	8,100	8,100	0	0			
二期	7																
	8																
	9																
	10			1	13,500					1	13,500	13,500	0	0			A.期首収納権利発生額=13,500円 (1人×2,700円×5月) B.収納権利増減(▲)額=0円 C.収納必要額A±B=13,500円
	計			1	13,500					1	13,500	13,500	0	0			
三期	12																
	1			1	10,800					1	10,800	10,800	0	0			A.期首収納権利発生額=10,800円 (1人×2,700円×4月) B.収納権利増減(▲)額=0円 C.収納必要額A±B=10,800円
	2																
	3																
	合計			3	32,400	0	0	0	0	3	32,400	32,400	0	0			

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 濟 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	103,092,280	102,765,580	326,700
項 01使用料	101,351,630	101,024,930	326,700
目 09教育使用料	101,351,630	101,024,930	326,700
02全日制高等学校授業料	100,881,000	100,554,300	326,700
03定時制高等学校授業料	426,600	426,600	0
08庁舎等使用料	44,030	44,030	0
項 02手数料	1,740,650	1,740,650	0
目 07教育手数料	1,740,650	1,740,650	0
01高等学校入学料	1,632,850	1,632,850	0
02証明書発行手数料	105,600	105,600	0
04高等学校全日制入学検 定料	2,200	2,200	0
款 10財産収入	545,436	545,436	0
項 01財産運用収入	491,400	491,400	0
目 01財産貸付収入	491,400	491,400	0
02土地貸付料	3,000	3,000	0
03建物貸付料	488,400	488,400	0
項 02財産売払収入	54,036	54,036	0
目 02物品売払収入	54,036	54,036	0
01不用品売払収入	54,036	54,036	0
備品	54,036	54,036	0
款 14諸収入	2,257,339	2,212,589	44,750
項 07雑入	2,257,339	2,212,589	44,750
目 02雑入	2,257,339	2,212,589	44,750
87保険料負担金	1,046,880	1,046,880	0
保険料負担金	352,915	352,915	0
非常勤職員	693,965	693,965	0

執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過E	納期限未到来F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.0
0	0	0	0	100.0	98.0
0	0	0	0	100.0	98.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

□□□□□

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
90雑収	円 1,210,459	円 1,165,709	円 44,750
雑収	1,164,681	1,119,931	44,750
公文書開示負担金	30	30	0
古新聞・雑誌	45,748	45,748	0
計	105,895,055	105,523,605	371,450

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	96.3
0	0	0	0	100.0	96.1
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.6

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08 使用料及び手数料	17,830,610	17,824,610	6,000
項 01 使用料	16,152,710	16,146,710	6,000
目 10 教育使用料	16,152,710	16,146,710	6,000
02 全日制高等学校授業料	16,067,700	16,067,700	0
03 定時制高等学校授業料	43,200	43,200	0
08 庁舎等使用料	41,810	35,810	6,000
項 02 手数料	1,677,900	1,677,900	0
目 09 教育手数料	1,677,900	1,677,900	0
01 高等学校入学料	1,661,100	1,661,100	0
02 証明書発行手数料	16,800	16,800	0
款 10 財産収入	517,800	514,800	3,000
項 01 財産運用収入	517,800	514,800	3,000
目 01 財産貸付収入	517,800	514,800	3,000
02 土地貸付料	3,000	0	3,000
03 建物貸付料	514,800	514,800	0
款 14 諸収入	730,679	704,343	14,138
項 07 雑入	730,679	704,343	14,138
目 02 雑入	730,679	704,343	14,138
90 保険料負担金	516,015	516,015	0
非常勤職員	516,015	516,015	0
93 雑収	214,664	188,328	14,138
雑収	207,071	180,735	14,138
古新聞・雑誌	7,593	7,593	0
計	19,079,089	19,043,753	23,138

執行状況調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

不納欠損額 D	収 入 未 済 額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	85.6
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	-
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	12,198	12,198	100.0	98.0
0	0	12,198	12,198	100.0	98.0
0	0	12,198	12,198	100.0	98.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	12,198	12,198	100.0	93.0
0	0	12,198	12,198	100.0	92.7
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	12,198	12,198	100.0	99.8

□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年9月30日現在)
	件 数	件 数
県立高等学校全日制入学検定料	327	0

□□□□□

現金出納調

藤枝東高等学校

(令和 6年度)

(令和 7年 5月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,738,450	円 1,738,450	円 1,738,450	円 0	円 1,738,450 411 枚	円 1,738,450 88 枚
雑入	0	30	30	30	0	30 2 枚	30 2 枚
計	0	1,738,480	1,738,480	1,738,480	0	1,738,480 413 枚	1,738,480 90 枚

□□□□□

現金出納調

藤枝東高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 9月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,677,900	円 1,677,900	円 1,677,900	円 0	円 1,677,900 344 枚	円 1,677,900 25 枚
計	0	1,677,900	1,677,900	1,677,900	0	1,677,900 344 枚	1,677,900 25 枚

□□□□□

預 金 調

(令和 7年 9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高(円)	摘 要
静岡銀行 藤枝支店	無利息型 普通預金	0004836	藤枝東高等学校資金前渡者 校長 森谷 幹子	20,000	給 料 交際費
静岡銀行 藤枝支店	無利息型 普通預金	0352546	(自振口) 藤枝東高等学校 資金前渡者 校長 森谷 幹子	0	公共料金 引落し
残 高 合 計				20,000	

□□□□□

郵券等受払調

(令和7年9月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	6 年 度						7 年 度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	1円券	4	4	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	4	4	文書発送
	2円券	6	12	0	0	0	0	6	12	0	0	0	0	6	12	
	10円券	20	200	20	200	14	140	26	260	0	0	0	0	26	260	
	50円券	2	100	0	0	2	100	0	0	0	0	0	0	0	0	
	63円券	3	189	0	0	0	0	3	189	0	0	0	0	3	189	
	84円券	14	1,176	0	0	4	336	10	840	0	0	0	0	10	840	
	110円券	0	0	20	2,200	0	0	20	2,200	0	0	0	0	20	2,200	
	120円券	21	2,520	0	0	5	600	16	1,920	0	0	0	0	16	1,920	
	140円券	0	0	20	2,800	0	0	20	2,800	0	0	1	140	19	2,660	
	葉書 (50円)	2	100	0	0	0	0	2	100	0	0	0	0	2	100	
計		4,301	5,200	1,176	8,325	0	140	8,185								

□□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 藤枝東高校

(令和6年度)

(令和7年3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 535,198	円 535,198	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	43,495	43,495	0	
所得税	41,420	611,340	343,807	308,953	
県市町村民税	4,300	122,000	113,700	12,600	
保証金	62,000	52,000	13,000	101,000	
計	107,720	1,364,033	1,049,200	422,553	

□□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 藤枝東高校

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 287,347	円 287,347	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	15,515	15,515	0	
所得税	308,953	236,656	527,536	18,073	
県市町村民税	12,600	25,200	37,800	0	
保証金	101,000	0	49,000	52,000	
計	422,553	564,718	917,198	70,073	

□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 06 スポーツ・文化観光費	80,000	55,245	24,755	
項 04 観光交流費	80,000	55,245	24,755	
目 01 観光費	80,000	55,245	24,755	
07 報償費	40,000	39,179	821	
02 買上金	40,000	39,179	821	
10 需用費	40,000	16,066	23,934	
01 その他の需用費	0	0	0	
02 食糧費	40,000	16,066	23,934	
款 11 教育費	170,489,087	170,489,087	0	
項 02 教育委員会費	40,313,044	40,313,044	0	
目 02 教育総務費	19,494	19,494	0	
01 報酬	19,494	19,494	0	
03 非常勤職員報酬	19,494	19,494	0	
目 03 教育管理費	40,173,550	40,173,550	0	
07 報償費	19,950	19,950	0	
01 その他の報償費	19,950	19,950	0	
08 旅費	53,027	53,027	0	
01 その他の旅費	15,708	15,708	0	
02 普通旅費	37,319	37,319	0	
10 需用費	19,138,148	19,138,148	0	
01 その他の需用費	19,138,148	19,138,148	0	
11 役務費	3,209,470	3,209,470	0	
12 委託料	13,722,005	13,722,005	0	
13 使用料及び賃借料	2,716,450	2,716,450	0	
14 工事請負費	1,314,500	1,314,500	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	

□□□□□

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
項 05高等学校費	113,416,253	113,416,253	0	
目 01高等学校総務費	15,091,717	15,091,717	0	
01 報酬	10,126,599	10,126,599	0	
03 非常勤職員報酬	10,126,599	10,126,599	0	
03 職員手当等	2,509,804	2,509,804	0	
01 その他の職員手当等	2,509,804	2,509,804	0	
04 共済費	1,928,049	1,928,049	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,928,049	1,928,049	0	
08 旅費	527,265	527,265	0	
01 その他の旅費	415,924	415,924	0	
02 普通旅費	111,341	111,341	0	
目 02高等学校管理費	98,324,536	98,324,536	0	
01 報酬	1,304,124	1,304,124	0	
03 非常勤職員報酬	1,304,124	1,304,124	0	
04 共済費	422	422	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	422	422	0	
07 報償費	0	0	0	
01 その他の報償費	0	0	0	
08 旅費	4,040,566	4,040,566	0	
01 その他の旅費	30,890	30,890	0	
02 普通旅費	4,009,676	4,009,676	0	
09 交際費	15,000	15,000	0	
10 需用費	21,691,200	21,691,200	0	
01 その他の需用費	21,691,200	21,691,200	0	
11 役務費	1,001,772	1,001,772	0	
12 委託料	1,707,200	1,707,200	0	
13 使用料及び賃借料	135,673	135,673	0	
17 備品購入費	0	0	0	

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
18 負担金、補助及び交付金	63,520,279	63,520,279	0	
19 扶助費	4,908,300	4,908,300	0	
項 08 学校教育費	16,759,790	16,759,790	0	
目 01 高校教育費	15,338,039	15,338,039	0	
01 報酬	3,800,000	3,800,000	0	
03 非常勤職員報酬	3,800,000	3,800,000	0	
04 共済費	742,096	742,096	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	742,096	742,096	0	
07 報償費	170,000	170,000	0	
01 その他の報償費	170,000	170,000	0	
08 旅費	1,697,548	1,697,548	0	
01 その他の旅費	953,617	953,617	0	
02 普通旅費	743,931	743,931	0	
10 需用費	1,692,767	1,692,767	0	
01 その他の需用費	1,692,767	1,692,767	0	
11 役務費	4,618	4,618	0	
13 使用料及び賃借料	4,300,610	4,300,610	0	
17 備品購入費	2,930,400	2,930,400	0	
目 04 健康体育費	1,421,751	1,421,751	0	
01 報酬	804,000	804,000	0	
03 非常勤職員報酬	804,000	804,000	0	
04 共済費	2,790	2,790	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,790	2,790	0	
07 報償費	64,800	64,800	0	
01 その他の報償費	64,800	64,800	0	
08 旅費	120,996	120,996	0	
01 その他の旅費	119,747	119,747	0	
02 普通旅費	1,249	1,249	0	

□□□□□

一般会計		(令和 6年度) (令和 7年 5月31日現在)			
区	分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
		円	円	円	
	11 役務費	429,165	429,165	0	
	計	170,569,087	170,544,332	24,755	

□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	133,423,645	43,589,130	89,834,515	
項 02教育委員会費	8,990,044	2,314,883	6,675,161	
目 03教育管理費	8,870,044	2,314,883	6,555,161	
07 報償費	50,000	30,000	20,000	
01 その他の報償費	50,000	30,000	20,000	
08 旅費	3,044	0	3,044	
01 その他の旅費	0	0	0	
02 普通旅費	3,044	0	3,044	
10 需用費	1,287,000	974,783	312,217	
01 その他の需用費	1,287,000	974,783	312,217	
11 役務費	50,600	50,600	0	
12 委託料	7,479,400	1,259,500	6,219,900	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05高等学校費	110,510,275	35,446,792	75,063,483	
目 01高等学校総務費	15,583,000	8,559,121	7,023,879	
01 報酬	10,084,000	5,591,312	4,492,688	
03 非常勤職員報酬	10,084,000	5,591,312	4,492,688	
03 職員手当等	3,108,000	1,620,291	1,487,709	
01 その他の職員手当等	3,108,000	1,620,291	1,487,709	
04 共済費	1,838,000	994,545	843,455	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,838,000	994,545	843,455	
08 旅費	553,000	352,973	200,027	
01 その他の旅費	441,000	241,523	199,477	
02 普通旅費	112,000	111,450	550	
目 02高等学校管理費	94,927,275	26,887,671	68,039,604	
01 報酬	212,000	67,593	144,407	

□□□□□

一般会計 (令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
03 非常勤職員報酬	212,000	67,593	144,407	
04 共済費	3,000	251	2,749	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	251	2,749	
07 報償費	0	0	0	
01 その他の報償費	0	0	0	
08 旅費	4,434,440	583,168	3,851,272	
01 その他の旅費	53,440	7,786	45,654	
02 普通旅費	4,381,000	575,382	3,805,618	
09 交際費	20,000	20,000	0	
10 需用費	22,989,835	8,484,869	14,504,966	
01 その他の需用費	22,989,835	8,484,869	14,504,966	
11 役務費	1,226,000	609,288	616,712	
12 委託料	2,285,000	673,200	1,611,800	
13 使用料及び賃借料	260,000	52,002	207,998	
17 備品購入費	280,000	279,400	600	
18 負担金、補助及び交付金	63,217,000	16,117,900	47,099,100	
項 08 学校教育費	13,923,326	5,827,455	8,095,871	
目 01 高校教育費	12,065,310	4,370,151	7,695,159	
01 報酬	5,020,000	2,354,047	2,665,953	
03 非常勤職員報酬	5,020,000	2,354,047	2,665,953	
04 共済費	757,500	299,857	457,643	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	757,500	299,857	457,643	
07 報償費	470,500	100,000	370,500	
01 その他の報償費	470,500	100,000	370,500	
08 旅費	1,187,310	650,825	536,485	
01 その他の旅費	430,310	327,886	102,424	
02 普通旅費	757,000	322,939	434,061	
10 需用費	1,400,000	965,422	434,578	

□□□□□

一般会計 (令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の需用費	1,400,000	965,422	434,578	
13 使用料及び賃借料	860,000	0	860,000	
17 備品購入費	2,370,000	0	2,370,000	
目 04 健康体育費	1,858,016	1,457,304	400,712	
01 報酬	1,120,000	722,000	398,000	
03 非常勤職員報酬	1,120,000	722,000	398,000	
04 共済費	3,826	3,826	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,826	3,826	0	
07 報償費	57,600	57,600	0	
01 その他の報償費	57,600	57,600	0	
08 旅費	240,000	237,288	2,712	
01 その他の旅費	240,000	237,288	2,712	
11 役務費	436,590	436,590	0	
計	133,423,645	43,589,130	89,834,515	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		13,722,005	0
	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		1,707,200	0
計					8,393,550	15,429,205	0
(14) 工事請負費	一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		1,314,500	0
計					0	1,314,500	0
(16) 公有財産購入費						0	0
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	11教育費	08学校教育費	01高校教育費		2,930,400	0
計					2,147,750	2,930,400	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		63,520,279	0
計					63,609,150	63,520,279	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	0
計					0	0	0

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節 名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
					うち、6年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般会計	12教育費	02教育委員会費	03教育管理費	1,259,500	0
	一般会計	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	673,200	0
計					1,932,700	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	279,400	0
	一般会計	12教育費	08学校教育費	01高校教育費	0	0
計					279,400	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	16,117,900	0
計					16,117,900	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

余 白

□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変 更 増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	静岡県立藤枝東高等学校ほか6校警備業務	セコム(株)	17,919,000	7,392,000		7,392,000
2	静岡県立藤枝東高等学校外7校警備業務	セコム(株)	30,203,184	10,692,000		10,692,000
3	自家用電気工作物 保安全管理業務	青野電気保安事務所 青野 真己	517,770	463,100	302,500	765,600
4	夜間定時制高等学校 校舎等管理業務	㈱アイズセキュリティ	1日当たり 3,300	1日当たり 3,300		1日当たり 3,300
5	産業廃棄物(混合廃棄物) 収集運搬処分業務	㈱アドバンス 中部サービス	2 m ³ 当たり 27,500	2 m ³ 当たり 27,500		2 m ³ 当たり 27,500

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	自 令 1.10. 1 至 令 6. 9.30	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6. 10.31 小計	円 (累計6,652,800円) 123,200 123,200 123,200 123,200 123,200 123,200 739,200	焼津・藤枝地区県立学校機械警備業務 平日 午後4時40分～ 翌日午前8時20分 休日 午前8時30分～ 翌日午前8時30分	R1長期 焼津中央高校 焼津水産高校 焼津水産高校 臨海実習場 藤枝東高校 藤枝西高校 藤枝北高校 藤枝特別支援学校 藤枝特別支援学校 焼津分校
一般	自 令 6.10. 1 至 令 11. 9.30	6. 11.29 6. 12.26 7. 1.31 7. 2.28 7. 3.28 7. 4.28 小計	178,200 178,200 178,200 178,200 178,200 178,200 1,069,200	焼津・藤枝地区県立学校機械警備業務 平日 午後4時40分～ 翌日午前8時30分 休日 午前8時30分～ 翌日午前8時30分	R6長期 焼津中央高校 焼津水産高校 焼津水産高校 臨海実習場 清流館高校 藤枝東高校 藤枝西高校 藤枝北高校 藤枝特別支援学校 藤枝特別支援学校 焼津分校
随契	自 令 6. 4. 1 至 令 7. 3.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6. 10.31 6. 11.29 6. 12.26 7. 1.31 7. 2.28 7. 3.28 7. 4.28 小計	34,100 80,300 80,300 58,300 104,500 58,300 58,300 58,300 58,300 58,300 58,300 58,300 58,300 765,600	定期点検・測定・試験保安管理 藤枝東高校 200KVA 月次点検 当初11月 変更後3月 年次点検 当初1月 変更後0月 藤枝東高校新校舎 900KVA 5月から追加 月次点検 10月 年次点検 1月 藤枝東高校生活館 65KVA	随契1号(少額)
随契	自 令 6. 4. 4 至 令 7. 3.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 10.31 6. 11.29 6. 12.26 7. 1.31 7. 2.28 7. 3.28 7. 4.28 小計	49,500 59,400 66,000 42,900 62,700 69,300 59,400 42,900 49,500 59,400 26,400 587,400	夜間定時制校舎戸締等管理 業務時間 午後8時45分～ 午後9時45分 1時間	随契1号(少額) 単価契約
随契	自 令 6. 4.10 至 令 7. 3.31	6. 6.28 6. 8.30 6. 9.30 6. 11.29 7. 1.31 7. 2.28 7. 3.28 7. 4.28 小計	55,000 82,500 137,500 55,000 27,500 27,500 82,500 55,000 522,500	産業廃棄物の収集運搬処分 19回分	随契1号(少額) 単価契約

□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変 更 増減額	計
6	物品移設業務	浜名梱包輸送㈱	7,183,000	5,346,000		5,346,000
7	産業廃棄物(混合廃棄物) 収集運搬処分業務	㈱アドバンス 中部サービス	8 m ³ 当たり 99,000	8 m ³ 当たり 99,000		8 m ³ 当たり 99,000
8	産業廃棄物収集運搬 処分業務	㈱岩本商店	1 kg当たり 242	1 kg当たり 209		1 kg当たり 209
9	事業系一般廃棄物 収集運搬処分業務	㈱岩本商店	1 kg当たり 59.4	1 kg当たり 49.5		1 kg当たり 49.5
10	焼津・藤枝地区県立 学校定期点検業務	青島彰一級建築士 事務所 青島 彰	2,112,000	2,090,000		2,090,000
11	エレベーター保守点検 業務委託	フジテック(株) 静岡支店	517,000	419,000		419,000
	事務関係計	11件				
	合 計	11件				
参考	1 消防用設備等保守 点検業務	消防設備保全㈱		7,590,000	678,647	8,268,647
	2 可燃物収集運搬 処分業務	環境のミカタ(株)		1回当たり運搬料 8,140 処分料1kg当たり 15.4		1回当たり運搬料 8,140 処分料1kg当たり 15.4
	計	2件				

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	自 令 6. 4. 30 至 令 6. 7. 31	6. 7. 26	5,346,000	藤枝東高等学校敷地内における物品の移設	
随 契	自 令 6. 5. 29 至 令 7. 3. 31	6. 7. 18	990,000	産業廃棄物の収集運搬処分10台分	随契1号(少額)単価契約
随 契	自 令 6. 7. 1 至 令 6. 9. 30	6. 8. 30	2,623,995	産業廃棄物の収集運搬処分	随契5号(緊急)単価契約
随 契	自 令 6. 7. 1 至 令 6. 9. 30	6. 8. 30	276,210	産業廃棄物の収集運搬処分	随契1号(少額)単価契約
一般	自 令 6. 10. 1 至 令 7. 1. 31	7. 3. 21	2,090,000	建築基準法第12条に基づく建築及び建築設備の定期点検業務、点検結果資料等の作成	焼津中央高校 焼津水産高校 清流館高校 藤枝東高校 藤枝西高校 藤枝北高校 藤枝特別支援学校
随 契	自 令 6. 9. 1 至 令 7. 3. 31	6. 10. 31 6. 11. 29 6. 12. 26 7. 1. 31 7. 2. 28 7. 3. 28 7. 4. 28 小計	56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 82,500 56,100 419,100	定期点検・保守・予防保全	随契1号(不適)
			15,429,205		
			15,429,205		
	至 令 6. 4. 1 自 令 7. 3. 31			自動火災報知器設備・屋内消火栓設備・消火器具設備・避難器具設備・非常用放送設備・誘導灯設備・防火設備の機能保守点検総合点検1回、外観機能点検1回	藤枝北高校
	至 令 6. 4. 12 自 令 7. 3. 31			可燃物収集運搬処分 毎週金曜日収集	藤枝西高校

□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変 更 増減額	計
1	(事務関係) 静岡県立藤枝東高等 学校外7校警備業務	セコム(株)	円 30,203,184	円 10,692,000	円	円 10,692,000
2	自家用電気工作物 保安管理業務	青野電気保安事務所 青野 真己	820,380	745,800		745,800
3	夜間定時制高等学校 校舎等管理業務	(株)アイズセキュリティ	1日当たり 5,500	1日当たり 5,500		1日当たり 5,500
4	産業廃棄物(混合廃棄物) 収集運搬処分業務	(株)アドバンス 中部サービス	2 m ³ 当たり 27,500	2 m ³ 当たり 27,500		2 m ³ 当たり 27,500
5	エレベーター保守 点検業務	フジテック(株) 静岡支店	1,199,000	699,600		699,600
	事務関係計	5件				
	合 計	5件				
参考	1 消防用設備等保守 点検業務	消防設備保全(株)		8,030,000		8,030,000
	2 可燃物収集運搬 処分業務	環境のミカタ(株)		1回当たり 運搬料 9,020 処分料1kg当たり 15.4		1回当たり 運搬料 9,020 処分料1kg当たり 15.4
	計	2件				

関 する 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	自 令 6.10.1 至 令 11.9.30	7.5.30 7.6.30 7.7.31 7.8.29 7.9.30 小計	円 (累計1,069,200円) 178,200 178,200 178,200 178,200 178,200 891,000	焼津・藤枝地区県立学校機械警備業務 平日 午後4時40分～ 翌日午前8時30分 休日 午前8時30分～ 翌日午前8時30分	R6長期 焼津中央高校 焼津水産高校 焼津水産高校 臨海実習場 清流館高校 藤枝東高校 藤枝西高校 藤枝北高校 藤枝特別支援学校 藤枝特別支援学校 焼津分校
随 契	自 令 7.4.1 至 令 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 7.8.29 7.9.30 小計	58,300 58,300 58,300 58,300 104,500 337,700	定期点検・測定・試験保安全管理 藤枝東高校 900KVA 藤枝東高校生活館 65KVA	随契1号(少額)
随 契	自 令 7.4.7 至 令 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 7.8.29 小計	82,500 99,000 115,500 71,500 368,500	夜間定時制校舎戸締等管理 業務時間 午後8時35分～ 午後9時35分 1時間	随契1号(少額) 単価契約
随 契	自 令 7.4.10 至 令 8.3.31	7.6.30 7.9.30 小計	27,500 27,500 55,000	産業廃棄物の収集運搬処分 15回分	随契1号(少額) 単価契約
随 契	自 令 7.4.1 至 令 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 7.8.29 7.9.30 小計	56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 280,500	定期点検・保守・予防保全	随契1号(不適)
			1,932,700		
			1,932,700		
	至 令 7.4.1 自 令 8.3.31			自動火災報知器設備・屋内消火栓設備・消火器具設備・避難器具設備・非常用放送設備・誘導灯設備・防火設備の機能保守点検 総合点検1回、外観機能点検1回	藤枝北高校
	至 令 7.4.11 自 令 8.3.31			可燃物収集運搬処分 毎週金曜日収集	藤枝西高校

□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知による	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	4,000	令和6年5月1日
2	全国定時制通信制高等学校長総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長協会	開催通知による	全国定時制通信制高等学校長協会第71回総会・研究協議会及び全国理事研究協議会	1,000	令和6年6月7日
3	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会	2,000	令和6年7月5日
4	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	令和6年7月5日
5	学研・小論文対策研究会参加費	㈱Gakken学校教育事業本部高大教育事業部	日程案内通知による	学研・小論文対策研究会	1,000	令和6年7月16日
6	電気料負担金	㈱エイデン	覚書による	藤枝東高等学校管理教室棟新築工事に係る電気料	369,879	令和6年7月16日
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分533名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	15,830,100	令和6年7月31日
8	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分12名×3ヶ月 第1期分1名×2ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	102,600	令和6年7月31日
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分1名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	令和6年9月30日
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分523名×5ヶ月 第2期分1名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	25,918,200	令和6年10月31日
11	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分11名×5ヶ月 第2期分1名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	156,600	令和6年10月31日
12	静岡県公立高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1名×2ヶ月)	高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	5,400	令和6年10月31日
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分2名×5ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	99,000	令和6年11月20日
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名×5ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	令和6年11月25日
15	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(戻入)(第1期分1名×1ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△9,900	令和6年12月13日
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名×2ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	令和7年1月15日
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分525名×4ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	20,790,000	令和7年1月31日
18	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分11名×4ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	118,800	令和7年1月31日
19	静岡県公立高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1名×4ヶ月)	高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	10,800	令和7年1月31日
20	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名×2ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	19,800	令和7年1月31日
	計	20件			63,520,279	

□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和 7 年度)
(令和 7 年 9 月 30 日 現在)

整理 番号	負担金名	交 付 先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催案内による	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会	4,000	令和7年4月30日
2	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知による	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会	2,000	令和7年7月7日
3	学研・小論文対策研究会参加費	株Gakken学校教育事業本部高大教育事業部	日程案内通知による	学研・小論文対策研究会	1,000	令和7年7月22日
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分541名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	16,067,700	令和7年7月31日
5	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第1期分4名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	32,400	令和7年7月31日
6	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第1期分1名×3ヶ月)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	2,700	令和7年7月31日
7	静岡県公立高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料 (第1期分1名×3ヶ月)	高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる。	8,100	令和7年7月31日
	計	7件			16,117,900	

建 築

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育管理費	令和6年度 藤枝東高等学校 体育更衣室解体工事	藤枝市 天王町 地内	935,000	935,000	0	935,000
2	教育管理費	令和6年度 藤枝東高等学校 旧体育館 出入口土間改修工事	藤枝市 天王町 地内	385,000	379,500	0	379,500
		合計	2件	1,320,000	1,314,500	0	1,314,500

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
参考	教育管理費	令和4年度 藤枝東高等学校 管理教室棟新築工事 (建築)	藤枝市 天王町 地内	1,434,675,000	1,430,000,000	19,984,585	1,449,984,585
参考	教育管理費	令和4年度 藤枝東高等学校 管理教室棟新築工事 (電気設備)	藤枝市 天王町 地内	248,567,000	220,000,000	27,281,092	247,281,092
参考	教育管理費	令和4年度 藤枝東高等学校 管理教室棟新築工事 (機械設備)	藤枝市 天王町 地内	168,102,000	145,184,600	3,289,000	148,473,600
参考	教育管理費	令和6年度 藤枝東高等学校 第1棟他解体工事	藤枝市 天王町 地内	122,243,000	104,940,000	1,529,000	106,469,000
参考	教育管理費	令和6年度 藤枝東高等学校 外構整備他工事	藤枝市 天王町 地内	58,861,000	56,870,000	7,579,000	64,449,000
		合計	5件	2,032,448,000	1,956,994,600	59,662,677	2,016,657,277

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)実績なし

工 事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	三和建商(株)	6. 8. 9 6. 9. 6	円 935,000	鉄骨造 1階建 延床面積49.5㎡ 上記に係る解体工事一式	済	令達年月日 6. 8. 5 最終支払年月日 6. 9. 27 随契1号(少額)
随契	(株)杉村工務店	7. 1. 24 7. 3. 10	379,500	旧体育館出入口土間コンクリート敷 28.5㎡	—	令達年月日 7. 1. 14 最終支払年月日 7. 3. 28 随契1号(少額)
			1,314,500			

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	(株)山田組	4.10.15 6. 5. 1	円 1,449,984,585	鉄骨造 5階建 延床面積5,317㎡ の新築に係る建築工事一式	済	本庁経理 建築工事課 4 債務 5 繰越
一般	(株)エイデン	4.11.11 6. 5. 1	247,281,092	鉄骨造 5階建 延床面積5,317㎡ の新築に係る電気設備工事一式	済	本庁経理 設備課 4 債務 5 繰越
一般	(株)ハローG	4.11. 2 6. 5. 1	148,473,600	鉄骨造 5階建 延床面積5,317㎡ の新築に係る機械設備工事一式	済	本庁経理 設備課 4 債務 5 繰越
一般	三和建商(株)	6. 5. 23 7. 1. 29	106,469,000	第1棟 4階建 延床面積 4,048㎡ 渡り廊下 2階建 延床面積 128㎡ 上記に係る解体工事一式	済	本庁経理 建築工事課
一般	(株)杉村工務店	6.11.21 7. 3. 26	64,449,000	アスファルト舗装 3,834㎡ フェンス新設 55.8m グラウンドスタンド手摺改修 上記に係る建築工事一式	済	本庁経理 建築工事課
			2,016,657,277			

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円	千円							
		2,384,125		1,872,473		10,045		4,246,553	
土地	47,855.39 m ²	2,277,039					47,855.39 m ²	2,277,039	
立木竹									
樹木	180 本	4,625			37 本	1,266	143 本	3,359	
建物	6,006.62 m ²	54,047	1,248.52 m²	1,792,391	1,399.48 m²	4,283	5,855.66 m ²	1,842,155	
	12,434.12 m ²		5,364.33 m ²		4,138.93 m ²		13,659.52 m ²		
工作物	63 個	48,414	19 個	80,082	個	4,496	82 個	124,000	
普通財産	千円	千円		0		95		93,064	
		93,159						93,064	
土地	1,494.15 m ²	93,064					1,494.15 m ²	93,064	
立木竹									
樹木	3 本	95			3 本	95	0 本	0	
建物	264.56 m ²	0	1,399.48 m ²		1,664.04 m²	0	0.00 m ²	0	
	793.68 m ²		4,138.93 m ²		4,932.61 m ²		0.00 m ²		
工作物	4 個	0			4 個	0	0 個	0	
公有財産に準ずるもの	千円	千円		0		0		188	
		188						188	
電話加入権	6 件	188					6 件	188	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和7年度)

(令和7年9月30日)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年9月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円	千円							
		4,246,553		0		5,564		4,240,989	
土地	47,855.39 m ²	2,277,039					47,855.39 m ²	2,277,039	
立木竹	143 本	3,359					143 本	3,359	
建物	5,855.66 m ²	1,842,155	_____ m ²		_____ m ²		5,855.66 m ²	1,842,155	
	13,659.52 m ²		_____ m ²		_____ m ²		13,659.52 m ²		
工作物	82 個	124,000	_____ 個		16 個	5,564	66 個	118,436	
普通財産	千円	千円							
		93,064		0		0		93,064	
土地	1,494.15 m ²	93,064					1,494.15 m ²	93,064	
立木竹	0 本	0			_____ 本		0 本	0	
建物	0.00 m ²	0	_____ m ²		_____ m ²		0.00 m ²	0	
	0.00 m ²		_____ m ²		_____ m ²		0.00 m ²		
工作物	0 個	0			_____ 個		0 個	0	
公有財産に準ずるもの	千円	千円							
		188		0		0		188	
電話加入権	6 件	188					6 件	188	

□□□□□

借地借家等調

(令和7年9月30日 現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	藤枝市 天王町 1-8-6	R C	2階建	建150.04m ² 延160.03m ²	円 —	円 無料	自 6.4.1 至 11.3.31	静岡県立 藤枝東高等学校 同窓会長	同窓会館
2		事務所建	藤枝市 天王 1-8-6	R C	2階建	建400.04m ² 延607.91m ²	—	無料	自 6.4.1 至 11.3.31	一般社団法人 静岡県立 藤枝東高等学校 後援会	生活館
3		雑屋建	藤枝市 天王町 1-7-1	S 1	階建	建16.99m ² 延16.99m ²	—	無料	自 4.4.1 至 9.3.31	静岡県立 藤枝東高等学校 P T A会長	部活動用 倉庫
4		雑屋建	藤枝市 天王町 1-7-1	S 1	階建	建15.40m ² 延15.40m ²	—	無料	自 4.4.1 至 9.3.31	静岡県立 藤枝東高等学校 P T A会長	弓道部 更衣室 (北側)
5		倉庫建	藤枝市 天王町 1-7-1	S 1	階建	建43.27m ² 延43.27m ²	—	無料	自 6.4.1 至 11.3.31	一般社団法人 静岡県立 藤枝東高等学校 後援会	サッカー部 部室兼 体育倉庫
6		雑屋建	藤枝市 天王町 1-7-1	S 1	階建	建8.91m ² 延8.91m ²	—	無料	自 4.4.1 至 9.3.31	静岡県立 藤枝東高等学校 P T A会長	弓道部 更衣室 (南側)
7		倉庫建	藤枝市 天王町 1-7-1	S 1	階建	建6.92m ² 延6.92m ²	—	無料	自 6.4.1 至 11.3.31	一般社団法人 静岡県立 藤枝東高等学校 後援会	物品庫
8		倉庫建	藤枝市 天王町 1-7-1	S 1	階建	建7.67m ² 延7.67m ²	—	無料	自 6.4.1 至 11.3.31	一般社団法人 静岡県立 藤枝東高等学校 後援会	レイキ 収納庫
	計				建物 建649.24m ² 延867.10m ²						
9	工作物	冷暖房 装置	藤枝市 天王町 1-7-1			1 個		1,652,387	自 6.7.1 至 19.6.30	NTT・TCリー ス㈱静岡支店	特別教室 空調

□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)													
				平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度			
長期継続契約	静岡県立藤枝焼津・藤枝地区立学校機械警備業務 (契約日) R1.9.9	7,392,000	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	静岡県立藤枝焼津・藤枝地区立学校機械警備業務 (契約日) R6.9.24	10,692,000															
債務負担行為	仮設校舎貸借 う仮設校舎貸借 (契約日) R3.11.4	21,038,600															
				12,342,550	2,989,800	2,989,800	2,716,450										
								1,069,200	2,138,400	2,138,400	2,138,400	2,138,400	2,138,400	2,138,400	2,138,400	2,138,400	1,069,200

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	4本	円 1,500	円 6,000	自4.4.1 至9.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店	電話柱1本 支線柱1本 支線2条
2	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	8本	1,500	12,000	自4.4.1 至9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)藤枝営業所配電建設グループ長	電柱3本 支線柱1本 支線4条
3	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	26.93㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	藤枝市	耐震性貯水槽
4	建物	雑屋建	藤枝市天王町1-7-1	軽量鉄骨造2階建	部室廊下	1㎡	—	10,310	自7.4.1 至8.3.31	(一社)静岡県立藤枝東高等学校後援会	自動販売機1台
5	建物	事務所建	藤枝市天王町1-7-1	RC3階建	校舎2棟普通教室	5.49㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	(一社)静岡県立藤枝東高等学校後援会	空調設備
6	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	4.76㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	(一社)静岡県立藤枝東高等学校後援会	防球ネット
7	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	8,802.6㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	(一社)静岡県立藤枝東高等学校後援会	運動場人工芝
8	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	21.36㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	藤枝市	藤枝市防災倉庫
9	工作物	フェンス	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	0.27㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	藤枝市	海拔・浜岡原発距離表示看板
10	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	0.02㎡		免除	自4.4.1 至9.3.31	藤枝市五十海西町内会長	防犯灯
11	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	0.97㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	藤枝市	カーブミラー
12	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	2本	1,500	3,000	自5.1.1 至9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)藤枝営業所配電建設グループ長	支線柱1本 支線1条
13	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	1本	1,500	1,500	自6.3.1 至9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)藤枝営業所配電建設グループ長	支線1条
14	建物	事務所建	藤枝市天王町1-7-1	重量鉄骨造5階建	校舎1棟事務室	3.30㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	(一社)静岡県立藤枝東高等学校後援会	職員執務用机
	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	12.50㎡					職員用駐車場
15	建物	事務所建	藤枝市天王町1-7-1	重量鉄骨造5階建	校舎1棟進路室図書室	6.60㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	静岡県立藤枝東高等学校PTA会長	職員執務用机
	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	25.00㎡					職員用駐車場
16	土地	学校敷地	藤枝市天王町1-7-1	学校敷地	学校敷地	0.82㎡		免除	自7.4.1 至12.3.31	藤枝市	カーブミラー
17	土地	学校敷地	藤枝市若王子1-147-6	学校敷地	学校敷地	6本	1,500	9,000	自3.4.1 至8.3.31	中部電力パワーグリッド(株)藤枝営業所配電建設グループ長	電柱5本 支線1条
18	建物	雑屋建	藤枝市天王町1-7-1	軽量鉄骨造2階建	部室廊下	4㎡	—	514,800	自7.4.1 至10.3.31	ダイドードリンコ(株)東海営業部	自動販売機2台
合計								556,610			

□□□□□

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は 面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	藤枝市 藤岡 1-20-1	宅地	公舎 敷地	2本	円 1,500	円 3,000	自 6.4. 1 至 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店	電柱2本
	合計							3,000			

□□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220561 県立高校・中学校 藤枝東高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
01-02 台類	27	(0) 0	0	(0) 23	0	4
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	30	(0) 0	0	(0) 23	0	7
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
01-07 書類整理器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-13 厨房器具類	5	(0) 0	0	(0) 2	0	3
01-14 冷暖房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-99 その他の庁用器具類	7	(0) 0	0	(0) 3	0	4
02-01 情報処理機器類	367	(0) 2	1,056,000	(0) 1	0	368
02-02 情報伝達機器類	21	(0) 0	0	(0) 2	0	19
02-03 再生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-01 撮影機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-02 観察・観測用光学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 5	1,874,400	(0) 1	0	11
04-01 診療・診断用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-03 看護用機器類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0

□□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220561 県立高校・中学校 藤枝東高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-06 獣医用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-02 波動・熱試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-03 電気試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-07 測量機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-99 その他の試験計測機器類	33	(0) 0	0	(0) 0	0	33
06-04 電気電子機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-06 家庭科用器具類	5	(0) 0	0	(0) 4	0	1
10-07 音楽用器具類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
10-12 体育保健用器具類	11	(0) 0	0	(0) 2	0	9
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
計	591	(0) 7	2,930,400	(0) 65	0	533

□□□□□

備品・図書調

(令和7年度)

所属 0000220561 県立高校・中学校 藤枝東高等学校

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 9月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-02 台類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-07 書類整理器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-13 厨房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-99 その他の庁用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
02-01 情報処理機器類	368	(0) 1	0	(0) 0	0	369
02-02 情報伝達機器類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
02-03 再生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-01 撮影機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	2	(0) 1	279,400	(0) 1	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
04-01 診察・診断用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-06 獣医用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2

□□□□□

備品・図書調

(令和 7年度)

所属 0000220561 県立高校・中学校 藤枝東高等学校

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 9月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-03 電気試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-07 測量機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-99 その他の試験計測機器類	33	(0) 0	0	(0) 0	0	33
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-06 家庭科用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-07 音楽用器具類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
10-12 体育保健用器具類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
計	533	(0) 2	279,400	(0) 2	0	533

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	パーソナルコンピュータ周辺機器 (i-Pad、プロジェクターほか)	週5回(年間200日) 各教科授業	令和元年9月	円 7,906,826
2	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	プロジェクター操作ボックス	週5回(年間200日) 各教科授業	令和元年9月	962,577
3	03-03	プロジェクター	高輝度プロジェクター	年間10日 校内連絡・学校行事・ 校内テスト放送問題用	令和6年10月	907,500
4	02-02	放送装置	屋外用放送設備(一式)	年間10日 体育大会等グラウンド 使用行幸用	平成20年3月	825,930
5	02-01	ノートパソコン	高性能ノートパソコン	週3日 情報教科授業	令和6年12月	685,117
6	10-07	管 楽 器	管 楽 器 ファゴット(ケース付)	毎日(年間300日) 音楽部活動用	平成16年3月	573,212
7	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール セノ DJ0200	毎日(年間300日) 授業・部活動用	令和4年3月	543,730
8	10-07	管 楽 器	管 楽 器 バスーン	毎日(年間300日) 音楽部活動用	平成12年3月	500,000
9	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール	毎日(年間300日) 授業・部活動用	平成9年2月	499,550
10	10-07	鍵 盤 楽 器	グランドピアノ	毎日(年間200日) 授業・部活動用	平成2年1月	494,400
11	01-13	冷蔵(凍)庫	製氷機 ホシザキ IM-90DL-1-ST	毎日(年間300日) 授業外アイシング用	平成17年3月	480,900
12	05-04	純水製造装置	純水製造装置 ヤマト SWG-202	週1日(年間50日) 授業・部活動用	平成12年3月	451,500
13	03-03	プ リ ン タ ー	学校向けフルカラー拡大コピーセット	週1日(年間50日) 授業・学校行事用	令和3年3月	448,800
14	03-03	モニターテレビ	プラズマディスプレイ 50インチ フルハイビジョン	週3日(年間100日) 理科授業用	平成21年12月	408,870
15	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール セノ DJ0110	毎日(年間300日) 授業・部活動用	令和3年5月	372,654
16	02-01	ノートパソコン	高性能ノートパソコン	週5日 各教科授業用	令和6年12月	370,883
17	01-07	製 本 機	丁合機 デュプロ DFC-100L II	年間5日 学校行事資料作成用	令和4年6月	363,000
18	02-01	その他の情報処理機	ファイルサーバー	毎日 情報処理、保存用	平成27年3月	340,179
19	10-07	弦 楽 器	チェロ レオンハルト#21 スギトウ弓	年5日 授業教材用	平成12年3月	333,900
20	01-14	暖 房 機	ジェットヒーター オリオン HRR480B-S	年3日 冬季学校行事用	令和6年1月	332,200

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

<全日制>

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	森谷 幹子		□□□	□年□月	□□□
2	副校長	梶山 佳明		□□□	□年□月	□□□
3	教頭	田中 加奈子		□□□	□年□月	□□□
4	事務長	藤田 信義	事務総括	□□□	□年□月	□□□
5	教諭	岩崎 俊子	理科	□□□	□年□月	□□□
6	教諭	渡邊 一利	理科	□□□	□年□月	□□□
7	教諭	三輪 英輝	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
8	教諭	池谷 文彦	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
9	教諭	山下 隆史	国語	□□□	□年□月	□□□
10	教諭	梶井 清貴	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
11	教諭	高島 美玲	国語	□□□	□年□月	□□□
12	教諭	高橋 明子	外国語	□□□	□年□月	□□□
13	教諭	狩野 宏晃	外国語	□□□	□年□月	□□□
14	教諭	田中 昌文	数学	□□□	□年□月	□□□
15	教諭	栗高 雅人	国語	□□□	□年□月	□□□
16	教諭	石割 聖士	理科	□□□	□年□月	□□□
17	教諭	松岡 幹雄	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
18	教諭	深見 淳	外国語	□□□	□年□月	□□□
19	教諭	中村 徳弘	外国語	□□□	□年□月	□□□
20	教諭	大石 憲正	数学	□□□	□年□月	□□□
21	教諭	大石 泰広	保健体育	□□□	□年□月	□□□
22	教諭	山本 芳枝	外国語	□□□	□年□月	□□□
23	教諭	深澤 友美	数学	□□□	□年□月	□□□
24	教諭	辻村 裕子	外国語	□□□	□年□月	□□□
25	教諭	仲川 陽子	外国語	□□□	□年□月	□□□
26	教諭	佐藤 武	保健体育	□□□	□年□月	□□□
27	教諭	小泉 佐紀	国語	□□□	□年□月	□□□
28	教諭	伊藤 洋章	数学	□□□	□年□月	□□□
29	教諭	高橋 誠	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
30	教諭	坂野 慎哉	数学	□□□	□年□月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
31	教諭	粕谷 悠	理科	□□□	□年□月	□□□
32	教諭	堀井 伸哉	数学	□□□	□年□月	□□□
33	教諭	成嶋 貞之	国語	□□□	□年□月	□□□
34	教諭	紫尾 麻子	理科	□□□	□年□月	□□□
35	教諭	植松 弘樹	保健体育	□□□	□年□月	□□□
36	教諭	小林 公平	保健体育	□□□	□年□月	□□□
37	教諭	黒田 恭介	保健体育	□□□	□年□月	□□□
38	教諭	宮城島 雅史	数学	□□□	□年□月	□□□
39	教諭	深澤 拓	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
40	教諭	伊藤 将好	情報	□□□	□年□月	□□□
41	教諭	齋藤 司	理科	□□□	□年□月	□□□
42	教諭	杉浦 史織	国語	□□□	□年□月	□□□
43	教諭	赤平 芙美	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
44	教諭	増田 祐樹	理科	□□□	□年□月	□□□
45	教諭	岡田 公一	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
46	教諭	鶴 亜利紗	外国語	□□□	□年□月	□□□
47	教諭	高橋 裕貴	理科	□□□	□年□月	□□□
48	教諭	森 直之	数学	□□□	□年□月	□□□
49	教諭	清水 梨菜	家庭	□□□	□年□月	□□□
50	教諭	嶋 元基	国語	□□□	□年□月	□□□
51	教諭	仲澤 愛梨	保健体育	□□□	□年□月	□□□
52	教諭	出井 駿成	理科	□□□	□年□月	□□□
53	養護教諭	渡邊 比登美	養護	□□□	□年□月	□□□
54	主任実習助手	安本 明日香	実習助手	□□□	□年□月	□□□
55	主幹	大平 光子	庶務	□□□	□年□月	□□□
56	主査	片瀬 幸衣	会計	□□□	□年□月	□□□
57	主査	永谷 広土	管財	□□□	□年□月	□□□
58	主事	植松 里奈	会計	□□□	□年□月	□□□
平均年数					4年 1月	

<定時制>

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教頭	水野 昭善		□□□	□年□月□□□	
2	教諭	山本 地塩	国語	□□□	□年□月□□□	
3	教諭	片山 雅史	外国語	□□□	□年□月□□□	
4	教諭	山本 敬樹	保健体育	□□□	□年□月□□□	
5	養護教諭	村松 智穂子	養護	□□□	□年□月□□□	
6	主事	市川 郁弥	庶務	□□□	□年□月□□□	
平均年数					3年4月	

臨時職員・会計年度任用職員

(令和7年9月30日現在)

<全日制>

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	非常勤講師	大川 義一	国語	□□□	□年□月□□□	
2	非常勤講師	北島 勝彦	数学	□□□	□年□月□□□	
3	非常勤講師	望月 寛太	保健体育	□□□	□年□月□□□	
4	非常勤講師	中村 光夫	芸術(音楽)	□□□	□年□月□□□	
5	非常勤講師	藪野 智江	芸術(美術)	□□□	□年□月□□□	
6	非常勤講師	河村 明	芸術(書道)	□□□	□年□月□□□	
7	非常勤講師	田中 孝典	外国語	□□□	□年□月□□□	
8	部活動指導員	佐賀 一平	サッカー部	□□□	□年□月□□□	
9	部活動指導員	井関 玲央	野球部	□□□	□年□月□□□	
10	スクール カウンセラー	桜井 直子		□□□	□年□月□□□	
11	非常勤労務職員	中島 広味		□□□	□年□月□□□	
12	非常勤労務職員	河村 卓好		□□□	□年□月□□□	
13	非常勤労務職員	山本 秀保		□□□	□年□月□□□	
14	外国語指導講師	アキエラ・ ポールティエオ	外国語	□□□	□年□月□□□	

<定時制>

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	非常勤講師	八木 俊樹	地歴公民	□□□	□年□月□□□	
2	非常勤講師	藪野 智江	芸術(美術)	□□□	□年□月□□□	
3	非常勤講師	五藤 香子	家庭	□□□	□年□月□□□	
4	非常勤講師	杉山 隆弘	情報	□□□	□年□月□□□	

□□□□□

職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

〈全日制〉

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	6	
30歳以上40歳未満	11	
40歳以上50歳未満	13	
50歳以上56歳未満	11	
56歳以上61歳未満	10	
61歳以上	7	再任用 6人
計	58人	平均年齢 47.4歳

〈定時制〉

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	1	
30歳以上40歳未満	0	
40歳以上50歳未満	1	
50歳以上56歳未満	2	
56歳以上61歳未満	1	
61歳以上	1	再任用 1人
計	6人	平均年齢 50.1歳

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 68人
	職員数 68人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	23(9)人
D 2		要経過観察	24(12)人
D 3		医 療 不 要	17(3)人
区 分 者 計			64(24)人
未区分者数			0人
合 計			64(24)人

(1) 管理区分A～C2該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由
 ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人
 () 人